2 de Julho de 1931 No. 714

Noticias do Brazil

第七百十四號　木曜日

昭和六年七月二日

伯剌西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado Semanalmente
Rua Fagundes, 16
Caixa, H — Tel. 7-4670
S. Paulo, Brasil
Proprietario e Editor
SEISAKU KUROISHI

ASSIGNATURA
Por Anno............30$000
" Semestre........16$000
" Mez..............3$800
" Semana...........$700

新總領事を迎へ一言希望を陳ぶ

新總領事內山岩太郎氏は、明三日、サントス港着のリオ・デ・ジャネイロ丸にて、當地に來着せらるゝと云ふことである。氏の經歷に就ては、本年一月廿二日發行の本紙に揭げたやうに、氏は群馬縣出身、外國語學校西班牙語科卒業後直ちに外務留學生となり、明治四十二年から今日まで二十三年間、外務省の役人として諸外國を勤め廻はられた中にも拉甸系國が多く、昨夏歸朝直前は亞爾然丁帝國公使館在勤一等書記官兼領事で、到る所評判の良い方であつたのであるが、これらの關係から本年一月十七日總領事に昇進と同時にサンパウロ駐在を命ぜられたのである。

本年二月初め頃であつたと思ふが、中島總領事は『新任總領事の內山氏は、語學の上から云つても、調和性に富んだ點から云つても、移植民を理解する事から云つても、慥かにブラジルには適任だ。昨年アルゼンチンから歸朝の途次、當サンパウロに立寄られた時にも、自分が希望として氏に陳べたる如く、氏のサンパウロ總領事となられたことは謂はゆる適材適所で、自分の希望が實現し得たとして在伯邦人の爲めに心から慶ぶものである』と、吾人に話されたを今猶は明瞭り記憶してゐるのである。

則ち役人を觀るは役人に如かずで、中島總領事が內山氏をサンパウロ總領事に適任なりと裏書された位ひであるから、吾人も之に對し百パーセントの信賴を置くことにして、新總領事內山岩太郎氏及び令夫人の來着を一日千秋の想ひを以て待受くるものであるが、然し吾人は亦吾人の立場として、更に別途の意味から新總領事を迎へ且つ歡ばんとするものである。

卒直に言ふならば、吾人は是れまで、新總領事を迎へる度每に、永く此の地に勤續を前提として、事を將來に、氣長く實行して貰ふべく望んで來たものである。所が事實は每に吾人の希望に反し、來る總領事も來る總領事も、出來るだけ短かい期間に、何か一つ目新らしい事業を仕上げて、之を機會に他に轉せんとする處から無理が出來、結局居着の在留民が其の都度、迷惑を蒙むる事になつたのであるから、若し現在の領事官制度が總領事を一つ場所に、七年若くは十年と、比較的永く駐在せしむるを許さぬとするなら、今度の新らしい總領事からは、成るべく新らしい事業を急いで行つて貰はない事を、此の場合に註文せざるを得ないのである。

と、云つて吾人は、內山新總領事に何も爲すなく無爲に居つて貰ひたいと云ふのではない。つまり總領事は、大處高處より在留民を監督し、指導して、在留民の仕事は成るべく在留民に行らせるの方針を採り、此の前の移民制限打電のやうに、總領事が自分勝手に日本政府へ打電して、ブラジル渡航熱を下降せしめて問題を惹起せるが如き事のないやうに、常に在留民側の實際を廣く觀察し、且つ重なる人々や團體の意見を徵して事を決するやうに、大體の標準を置いて貰ふを、吾人は安全にして效果ありとするものである。

斯く云ふと、領事館側では、然らば在留民に、それだけの素養と訓練とが有るかと言はれるかも知らぬが、其處は總領事の行りかた一つで、或る程度まで在留民の自治に委せて、其の上で總領事が締括つて與るなら、必ずやそこに大に見るべきものあるを信じ、吾人は內山新總領事に對し之を一つの希望として茲に公表し、明三日の着聖を滿腔の熱誠を以て迎へる者である

稀有の大降霜で 珈琲樹被害甚大

各地よりの悲報頻々

最近亞國方面からの寒潮風が頻りに北方を流れ、伯國沿岸を洗ひつゝあつたので、其の筋の専問家は早くも嚴寒の襲來を感知し、警報を各方面に飛ばしつゝあつたが、愈々去月廿八日の夜は非常な寒冷で、翌朝は稀に見る大降霜となつたのである

まだ今日まで被害程度の詳報を得ざるも傳ふる所に依れば、今回の降霜は十三年前即ち一九一八年の大降霜被害と大差無きが如く報ぜられてゐるが、今斷片的に報告されつゝある州內奥地々方の被害情報を擧げて見ると次の如くである

リベロン プレート地方

郡內一帶に亘る大降霜で、珈琲地帶の被害は豫想外に甚大なる模樣である、尙ほ隣接市セルトンヂンニヨ、クラビンニヨス方面の新植珈琲の被害甚大なるとの報がある、又リベロン・プレト近郊耕地に於ける珈琲被害は一耕地に付き一萬四五千本程度と計上されてゐる

北西線及アルト パウリスタ地方

昨日出聖のリンス在住の一邦人の談に據れば、同地方は二十七日の夜明に大雨が降つて後晴となり、翌拂曉は屋根と云はず道の小草までが眞白となつた程の大降霜で人々を驚かせた、斯くの如き狀態で珈琲に對する被害は三、四年生までの若樹の殆ど全部が相當の損害を受けてゐる兎に角損害は可なり大きい模樣と見られてゐる、併し一九一八年の大降霜害に比較すれば其の程度は餘程微弱と見られてゐるを喜びとすると云ふのである

アグドス地方

又アグドス地方も稀に見る嚴寒で大降霜があり、珈琲地帶のて被害なか〳〵大きいと云はれゐる

フエルノン デ デアス地方

此の一帶も二十七、八兩日に亘り突然襲つた寒冷と大降霜で新植若珈琲の大半は黑焦げとなつて枯死し、またガリア、ドアルチナ及びプレシデンテ・アルベス、アバイ方面も通じて降霜被害程度約二割强と見積られてゐる

ソロカバナ沿線

プ・ウエンセスラウよりの情報に依れば、此の地帶も可なり烈しく降霜被害は三割强の枯死若珈琲樹がある模樣で、またサベザール地方の大降霜に依る被害も豫想外で、一般を通ふじて若珈琲は全滅の有樣である

オウリンニヨス ピラジユー地方

オウリンニヨス及びピラジユー地方も小雨後大降霜あり、各作物の被害甚大、殊に珈琲の被害は大きい、尙ほ續いての降霜なきやを考へ、夜も祿々眠むれぬと云ふ悲觀狀態である

リオクラロ地方

リオ・クラロ地方も亦今回の大降霜で郡內各地の農作物に被害多く、殊にパース・デ・コロンバタイ方面は農作物の被害は一層大である、市內は嚴寒の爲め寸餘の氷結が出來た位ひであつたと

リメーラ地方

リメーラ地方は二十七日全日小雨あり、翌朝は大降霜で各作物の被害多く、密柑樹の被害なか〳〵多い模樣である、尙ほ引續く嚴寒の爲め降霜を心配し人心落着かざる狀態である

アンパロ地方

アンパロ地方の降霜は一九一八年の大降霜に比し大差なき被害程度を示し耕主連は如何にせんかと善後策に腐心しつゝある

バウルー地方

バウルー通信に依るとアバイ、カフエランヂア、ガルサ、リンス地方の降霜被害は、思つたより微弱の模樣であるが、低地は槪して損害甚だしと

シヤバンテス

シヤバンテス地方は廿七 八兩日に亘る降霜で各作物を通うじて約六割强は害を被つてゐる、またイパウス地方も兩日に亘る降霜で作物の五割强の被害を蒙り農家は一般に憂慮狀態にある

クアタ地方

クアタ地方も亦大降霜の爲め新植珈琲樹の被害甚だしく、一支を通うじて憂慮されてゐるが、收穫樹を持つ者は珈琲の値が上騰すると云ふので自らを慰めてゐる

聖市近郊

聖市及び近郊は去月廿七、八、九と三日間は非常に寒く、降霜も從つて强かつたが、夜明け頃より濃霧がかゝり太陽の光線をさえぎつて與れたので損害も微弱と見られてゐる、併し此の寒さが二度、三度繰返へし、襲來するのではなからうかと極端に恐れられてゐる狀態である

輸出入統計と珈琲の役割

本年度五ケ月分

聯邦臨時政府大藏大臣ワヰタケル氏が最近新聞聯盟に發表したる統計表に依れば、今年度五ケ月間に行はれた珈琲輸出が伯國に如何なる重大な役割を勤めつゝあるかゞ一目瞭然である。則ち一月には輸入總額三百六萬四千磅に對する輸出額四百九十萬二千磅、二月になつては輸入額三百七萬二千磅に對し輸出額四百二十二萬八千磅、三月になると尙その差額が大となり、卽ち輸入二百八十八萬七千磅に對し輸出四百二十萬一千磅　四月に及んで差額は最高潮に達し、輸入額二百七十二萬五千磅に比し輸出額は四百六十一萬三千磅となつてゐる、五月は每年の例として珈琲の出高が少ないから輸入二百二十二萬磅に對し輸出三百九十一萬五千磅であつた、兎に角本年の一月から五月末迄の滿五ケ月間に伯國の受取勘定は七百八十九萬一千磅になつてゐる、之を以つて見る、と如何に不況だ何んだと騷いでも珈琲は伯國經濟界に驚異的な大切な役割を勤めてゐることを認めなければならない。

三井は東洋に 珈琲販賣權

契約成立確實だと

數旬前來聖州政府と交渉數次に亘つて神部三井商社代表は、日本、支那方面に於ける伯國珈琲の一手販賣權の契約成立確實との報であつた。

又一方、ソビエツト・ロシアに向ける珈琲は聯邦中央消費組合との間に契約成立したとのことであるから、是等二契約に依る伯國側の利益は將來莫大なるものと觀られてゐる。

北伯罹災民へ 珈琲給與

大干魃の被害を受け、食ふにパンなき悲慘なる現狀に在る北伯罹民の苦痛に同情したデアリオ・デ・ペルナムブコ紙は、新聞聯盟に訴へて援助を得之が實行方法として最初に珈琲保護局を動かし、大藏、交通兩省をも同意せしめ　遂に一萬五千袋の珈琲を右地方罹災民に無料給與することゝなつた　而して是れを濫用せざらしめんが爲め交通大臣は特に深甚の注意を執政官宛に通告を發し、取締を嚴重にする事にした。

亞國獨立祭に 特派使節

來る七日のアルゼンチン獨立紀念祭に伯國を代表して現任聯邦海軍大臣プロトゼネス・ギマランエス氏が參列することゝなつた、大臣は軍艦に搭乘昨一日リオ港を出帆亞國に向つた由

目覺しい女性の 職業進出

最近リオ府に開催の國際女性會議の席上、伯國側の一代議員は『現下伯國婦人職業戰線活動が實際化して目覺しい進出振を見せてゐる、卽ち現任に於て聖州のみにて二十名の公認女醫に、十二名の辯護士、州政廳の公吏が四名、保安局勤務が三十六名交通局勤務三十名、市役所勤務が三十名、大藏局勤務が二十一名、保健衞生課勤務が百名、其他女教師、獨立職業者の數を計上すると驚異的數字を示してゐる』と述べ其の進出振りを事實に示した。

東西南北

賠償金

モラトリアムと列國

米國大統領フーバーの提案になる不況打開策の賠償金支拂猶豫案が各國に發表さるゝや國際政治、經濟界に大センセションを起しつゝあるがこの提案に對しては各國とも問題なく賛意を表し當面の國家として獨逸は直に提案を受理し英國も又賛し佛國に於ては少しく難色ありしもこれまた賛同し其の他伊國或は他の大小國とも賛意を發表してゐる

南米經濟政策樹立

尙は米國大統領フーバーは南米の經濟的苦境の改善を計る爲め南米經濟聯盟の組織その他に關する一般的案を樹立したコンメルシオ紙の報ずるところに依れば米國はブラジルに對し大借款に應ずるだらうとこの經濟政策は南米諸共和國銀行と聯邦銀行との協調に依りて實現さるゝと此の報に依り北米に於ける南米諸國の各種債劵は相場の昂騰を見た

米國露國製品の輸入禁止

北米政府は法令を以て露國製品並に露國資本に依り製造される一切の生産品の米國への輸入の禁止を計畫してゐる即ち最近の露國のダレビングは勞農政府五ケ年計畫に屬する政策であるとの理由によるものである

印度の

外貨排斥續く

印度に於ける外貨排斥は最近著しく尖銳化し凡ての酒精飮料及び今日まで比較的排斥されなかつた日本製諸物貨の排斥も行はれ尙は最近伊太利政府のトリポリに於ける印度人壓迫に對する報服として伊國から輸入された輸入商品を海中に投棄し或は燒却しつゝありといふ

秘露の

軍隊また反す

ペルー・クツコに於て同地軍隊が反亂を起した原因は前革命政府首腦たりしサンチエセロの歸國に反對の爲でアレキツパより鎭定の爲め軍隊が派遣された

ツエ伯

號北極に向ふ

ツエ伯號の北極探險はウイルキンスのノーチラス號と協力する計畫なりしもノーチラス號は機關の故障にて壯途を挫折した爲め單獨探險を決行する事に決し來る十五日フリードリツヒハーヘンを出發二十日カイザー・フランツ・ヨセフ・ランドに到着して同地にて凡ての準備をなすと

蛋白質

の合成に成功

獨逸ボクンの教授クルンド氏は長年蛋白質の合成法を研究してゐたが動物蛋白質中の炭素の結合狀態の研究から蛋白質の人工的合成法に成功した製品は未だ完全なるものに非ざれど旣に動物飼料として利用し得るものである

△農業欄▽

過剰砂糖の新し利用法

伯國では珈琲が餘つて困つてゐる、政府は珈琲價を維持する爲めに珈琲を買上げて、之を海の底深く捨てる爲めに、人手を懸け、運賃を費やし、船を使用してまで其れが處分に努力してゐるが、未だに此の廢物の利用方法の發明が出て來ない。其處に至ると北米は、何事に對しても世界の行り方の尖端をゆかねば承知せぬ國だけに、近頃生産過剰の**砂糖か**ら副産物として、溶解の出來ない、それでゐて堅く、透明な硝子のやうなラバ、セルロイド、煙草やキャンデー等の包紙に格好な諸副産物を製造し得る途が過去九年に亘る努力により發見され、近い將來にはニユヨークを中心として市場に現はれんとして居る報道を得た、砂糖産業の關係者は此の發見に依り、過剰砂糖の捌け路が出來たのみならず人絹、レキヨンと同様の發達を見るに至るであらうといふ近頃耳寄りな話がある、發明者はアーサー・フォードと呼ぶ化學者でイギリスに生れ佛獨で化學を研究の上渡米しアメリカに歸化した人でこの發明家を助くべく三年前に乘り出したのが新聞記者上りでアメリカ砂糖協會の**顧問で**あつたペン・グレー君であつた、この兩人の努力に向つて、南ポートリコ砂糖會社の代表エドワード・ペーン君の如き『これは砂糖産業界にとつては近來にない好ニュースである、砂糖が單なる食料品以外に副産物を生産したいことは數十年に亘る懸案であつた』とあるがフォード君の説明する所によると、その發見は砂糖を同分異量化したもので、砂糖の組織はその儘殘して糖分の作用と素質を種々と變化さしたものであつて『これを凍らして硝子のやうにも出來るし、水のやうに透明なラバー、他の方法では普通のセルロイドより**白く且**つ不燃性的なフヰルムも出來る、これを液體とし或ひは粉となれば電流の不導物質となり、ゼード・ボックス、眞珠ボタン等と種々なものが出來上る』とあり、これに彩色作用を及ばした副産物として、可能性のあるものには人造皮革、護謨糊、織物、レンズ、寫眞、雙眼鏡、フヰルム、包紙、カートンス、ペンキ、ヴアニシュ等が製造し得る外、セルローゼを混合すれば從來よりも生産經費が省くことが出來る相で、フォード氏は幾多の標本を既に陳列して居る、氏はこの外、電途寫眞の『テレグラヴェア』の發明者でもある、この副産物が果して余剰砂糖をどれ程に**消費す**るかは疑問であるが、グレー君はこれ等の製造材料は一封九仙五厘位で生産し得るから『近い將來にアメリカの婦人は頭の先きから足までフォード式分折による、砂糖分解の材料品をまとふやうになるだらう、即ち靴は砂糖プラステック斷じて壞れ得ない鏡を入れた糖製の手提袋から砂糖ペンで手紙を書き糖製椅子に坐つて糖製フヰルムの活書を鑑賞し得る』と砂糖の黄金時代を謳歌しゐるのだから素晴らしいものである

秩序整ふ裡に面白味の有るレヂストロ

海興と云へばレヂストロ植民地を思ひ出さずには居れない程、在伯邦人の頭腦に染み込んでゐる同植民地では、一昨年補助金を貰つて産業組合を設立したが昨年のパニックで他所と同じやうに不成績ではあつたが、其の苦しみで大なる經驗を得たと云ふ事であるが、それが今年はレジストロ産業組合倉庫と云ふのまで立派に出來上つたとは大したものだ、そこで其のお祝ひに何か一つ行らうじやないか、バイレか—それは少し月並だ、それより却つて日本趣味たつぷりな演劇でも催さうではないかと云ふのに**衆議一**決し、レヂストロ青年聯盟主催で『演劇の夕』が演ぜられる事となつた、そしてそれを催はした晩は暑からず寒からずと云ふ演劇には誂へ向きであつたが爲め、觀客は定刻前から押かけ、開場時間には大入り満員で、流石の大アルマゼンも文字通り立錐の餘地もないと云ふ程の盛況であつたが、此の催ほしの特色とでも云ふべきは、寄附を仰がず、入場券を賣らず一切自費自辨　辨當は勿論各自勝手たるべしで、演劇用の大道具、小道具、舞臺裝飾、照明等は青年聯盟の手になつたもので**舞臺は**小劇場式に仕つらひ、電氣は電氣係りが引受けて責任を帶び、何から何まで聯盟員悉皆受持ちの水入らずで行つたは、農業地の娯樂として最も理想的でおり經濟的であつたと云ひ得る、尤も芝居は木の頭とでも思ひ込んでゐた人の多い處へ、幕裏でどん底の歌を唱つたりベルで靜かに幕を引揚げたりするのだから、觀る人々の考への相異で色々の批評もあつたやうではあるが、兎に角新しいきを求めて物の尖端を行かうとする青年の演ることで故、時に意外なこともあり、突飛なこともあり滑稽なこともあるのであるが、熟々考ふれば其處に面白味もあり、噴飯禁じ難きところもあるので、此處は植民的とでも云つて買つてやらねばならぬ處、兎に角レヂストロには一面質素な處に新らし振りを發揮する素質を有つので進歩もあり向上もあるのだと言ひ得る、植民地は澁い顔して八釜しく言ひ立てる小父さん連中もゐるかと思へば、面白く樂しんで働いて伸びて行く純な青年も居るので社會が調和を保てる、そして其の模範的のものゝ一つにレヂストロのあることを記憶に置くべきだと同植民地からの通信である

◆郷里送金相場◆

横濱正金銀行リオ支店郷里送金相場六月廿九日日本金（圓に付）六釺五百四十レース

◎日本連絡郵便船◎

日本連絡郵便船「Western World」號は、七月九日紐育へ向けリオを出帆するから日本郵便は六日午後三時まで聖市郵便本局へ投函のこと

聖市主要農産物相場表（六月現在）

品名	25日	26日	27日	28日	29日	30日
珈琲四號十基	16$000	16$000	16$000		16$000	16$000
砂糖（六十基）特上品	43.000	43.000	43.000	—	43.000	43.000
同　中白品	31.000	31.000	31.000	—	31.000	32.000
白米（六十基）一等品	31.000	31.000	31.000	—	31.000	31.000
同　三等品	24.000	24.000	24.000	—	24.000	24.000
マンヂオカ粉內國品	13.000	13.000	13.000	—	13.000	13.000
小麥粉內國品	31.500	31.000	31.000	—	31.500	31.000
豆（六十基）ムラチンニヨ	12.000	13.000	13.000	—	12.000	12.500
ミリオ（60基）アマレリンニヨ	12.500	12.800	13.500	—	13.000	13.000
同　アアレロン	11.000	11.500	11.800	—	11.800	12.000
同　普通品	11.000	11.500	11.800	—	11.800	12.000
アルゴドン五級品	40.000	41.000	38.000	—	38.000	38.000
マモナ（一基）中粒品	.540	.450	.450	—	.550	.450
アルフアルフア（一基）	.220	.220	.220	—	.220	.220
豚脂（六十キロ）	178.000	178.000	178.000	—	178.000	178.000
油（二十リツトル）	77.000	77.000	77.000	—	77.000	77.000
馬鈴薯	—	—	—	—	—	—
バナナ	—	—	—	—	—	—

註……本相場表は聖市及サントス市場の相場を參考にしたものである

◆適要◆

△珈琲は國際經濟恢復の曙光見へ加ふるに奥地一帶の大霜害にて本年度生産減を豫想され見越し強し

△他農産物は目下相場安けれど安定

Fabrica de Macarrão
"SOROCABANA"
Caixa, 133 Tel. 106 E. P. Prudente L. Sorocabana

品質佳良
日本式ウドン
素麵
ソロカバナ製麵所
荻堂盛助
小濱彥吉
具志堅允宏

HOTEL JAPONEZ
H. KOBAYAKAWA
Caixa Postal, 197 Cambará E. de Paraná

お客様には第一に親切を旨とし寝具も清潔にして寝心地良く食事も精々新鮮な材料を吟味調理してお客様の御氣に召す様、力めますから當地へ御越の際は是非共當館へ御投宿下さる様伏して御願申します、土地御視察の方々には便宜を計ります

館主　小早川治人
北パラナ、カンバラー
郵函一九七番

T. TAKARA
CIRURGIAO-DENTISTA
Araçatuba

齒科醫
寶臣衛
北西線アラサツーバ市
オラーボ・ビラツタ街三〇
バンコ・コンメルシーアル・ド・エスメードア前

謹告

去る一月創立總會に於て役員選擧の結果左の諸氏當選仕り候間此の段廣告候也

昭和六年六月十八日

役	氏名
顧問兼教育係	高瀨隆司
會長	柴田浩一
副會長	久保田正雄
書記	平間圓治
會計	高山久一
教育係	安田又次
教育係	田中綱太
第一區長並に衛生係	一木庄八
衛生係	谷口佐久馬
第二區長並に衛生係	石本太郎
衛生係	岩崎茂市

ソロカバナ線ジヨゼ・テオドロ驛
日本人中央同志會

廣告

今回幸運植民地日本人會前役員幹部は自治團體の精神に背きたる行爲あるに依り席を同ふするを恥ぢ吾等連袂昭和六年一月に脫會の止むなきに到りしも大和民族さし自治の本領を尊守し今日に及びたるも何等の色彩を認めず依て萬無止茲に脫會謹告候也

昭和六年六月十八日

脫會者氏名（順序不同）

安田又次　平田晉次郎　坂口敬義　前田光記　岡田源治　加藤賢造　中野傳作　荒木時次郎　山本正雄　矢野豐　岩村貞雄　前地芳夫　丹後田作美　塚本秋吉　平間圓治　荒木傳　小川秀雄　吉田三郎　組崎政平　行德徹　森永喜六　植田松次　久保田正雄　安田與吉　安田石嗣　芦立新六　山口卯吉　谷口左久馬　田中綱太　田中喜一　藤澤保　荒木留雄　高木隆　濱村諸成

計六十八名

山田重兵衛　岩崎武人　江頭晉市　茶屋道喜之助　中野正雄　佐々木修三　山田金藏　山本仁三郎　橋本正雄　古谷彥正　立澤六左衛門　松崎末喜　三保谷廣次　內田長作　藤崎厚　高瀨隆司　石本太郎　大島利雄　柴田浩一　中島啓太郎　一木庄八　原田高雄　松島又一郎　黑澤定治　渡邊新一郎　堀內惣吾　町田長吉　灘波淺次郎　末次一郎　田中伊太郎　高山久一　岩本宇一郎　岩崎茂市　白石三作

以上

電話開通御案內

番號　壹（イチ）貳（ニ）八（ハチ）

左の番號の電話開通致しました、店舗擴張、內容一新、格安品豐富に取揃へましたから何卒御利用の程願上げます

七月

リンス町　カーザ・ソール・ナツセンテ

SEMENTES NOVAS
CARLOS CORRADINI
Rua São Caetano, 42 —— S. Paulo

新しい種子

一、野菜、花類各種物の新荷着しました
一、當店は伯國唯一歐洲から直輸入店です
一、玉葱種、アルゼンチン種、カナリア種其の他菜園用の機具及び藥品
當店の種物は廉価で發芽保證附であります

一、噴霧器『ウエルモール』は蔬菜、園藝家に無くてはならぬ必要品であります
一、型錄價格目錄御請求あれば御送附申上ます

Brasão Olympico
SAGGESE & CIA.
Rua João Briccola, 18
Tel. 2-2110 —— S. Paulo

スポーツマン!!!

直輸出入商ブラゾン・オリンピクへ運動具は何品にても豐富に取揃へてあります御問合せは日本文にて上記へ

聖市で一番買ひ易い運動具店
日本人のスポーマンには特に勉强
御用命は是非一度

病氣に就て（二）

附、應急手當法

大村熊之允

下痢

下痢の手當としては一日一回、食鹽温灌腸を施し、尙は腰腹部を温め一日一回全身拭取を爲し鹽又は芥子の腰湯も可し、食事は愈々空腹を感ずる迄與へず、後温き良消化物を撰び、少しづつ量を增すこと

凍傷

此の國では殆んど全く必要のない事であるが、凍傷の場合は、患者を直に温めてはならぬ、先づ氷又は冷水にて摩擦し暖かにしたる後加養するがよい。

火傷と熱傷

全身傷にして衣類が皮膚より脱せぬ時は、其所だけを微温湯に浸せば苦痛を速かに減ず、尙ほ數日又は數週間表面が治する迄一度沸騰したる湯にコップに曹達を小量加へ攝氏三十八度位に下降した時局所を浸すを可とす少しの火傷にはソーダをつけても有効である。

足の疲れた時

足の疲れた時は、熱き湯に半時間浸して後、酢にてよく揉み足部を高くして休むと宜しい

心氣亢進

不眠の時は頭部を冷し、尙ほ冷灌腸を施すべし効目ありとする

惡寒又は全身震い

惡寒又は全身震いは、大低毒素の關係だから、温水灌腸を爲し手足を湯タンポにて温むるを良しとする

打撲傷

打撲傷を受けた場合は患部を凸形のものにて抑へ、若し强く腫れる樣なれば氷又は冷濕布を施し、苦痛の止みたる時温濕布を爲し揉み散らす、變色部は酢と水を等分したるものを温めて擦り込むを良しとする

毒虫に咬まれた時

毒虫に咬まれ、毒が全身に廻る恐れあれば從て手當も亦迅速を要する、手早く傷の上部分を堅く縛つて動脈を抑へ、毒の蔓延を防ぐ醋酸の稀薄液又は酢にて洗滌し又口中に傷がなければ何回となく吸つて吐き出すも良し其の際は傷口を固く壓し、度々唾を吐き出すこと、醫師の來る迄澤山の湯を呑ませ又は水浴灌腸も可、此の際にアルコール消毒は有害である

鼻血の止まぬ時

鼻血の止まらぬ時は、頸推部又は鼻と顏面に冷濕布を爲す、尙ほ頸推の上部を輕く打ちて頭を反らしながら力を込めたる儘口を上下は物を嚙む如くして、體は上半身を高く且つ頭部を反らし、兩手を高く伸ばし置き又首を冷して足部を温むべし

吐瀉、食傷か誤つて服毒の時

吐瀉、食傷が誤て服毒の時は、食鹽芥子、明礬の粉一茶匙宛一合位の水に溶解、服用吐瀉せしむ、若し服毒の時は玉子の白味を澤山牛乳に混じ飲用せしむ、其の上灌腸を續けるべし、吐瀉を催したる時はレモン又は食鹽水を與ふ全身アルコール又は温湯にて拭ひ、手足を温め空氣の流通を良くしレモン水の外は空腹に堪へぬ迄與ふ可からず

痙攣、尿毒症及び酒毒の場合

痙攣、尿毒症酒毒の場合は華氏百五度から百十度の温湯に入れ九十七八度位に下りたる其の度を保ち四五十分間浸し置くか、其の程度に於て腰腹部を絕へず温濕布で拭取りを爲し、食物は一時湯水の外中止すること

問題の「チエテ」を視たまま

一記者

チエテと云へば、直ぐにブラ拓の移住地を聯想する、即ち茲に云ふ『チエテ』もブラ拓移住地を指すもので、それを記者の眼に觸れた其の儘を記して見るに過ぎないのである。

チエテと云へば、ア、『マレッタ』の巢窟かと肯づかれる樣に一般に惧れられてゐる、が然し記者の實際視た處に依れば、組合は豫め考慮して河淵を全然避けて、高臺の最も健康地とする場所を撰び、事務所を建て移住者を配置したから、殆んどマレッタは無いと云つて宜い位ひである

無論新開地であるから、他に有る程度のマレッタは三、四月後の季節には多少は出るさうだが、是れとて注意すれば何んぞ恐るゝに足らんやださうである。土地の肥沃なるは今改めて說明するまでもない、バウ・ダリヨと云ふ大木が一アルケルに七、八本、多い所には二、三十本も有るのを見ても、如何に土地が肥へてゐるかが證明される

此の移住地は、驛から六キロと云ふから交通の上では申分がない、それは土地が廣いだけにエスタソンが四ツも附いて居るから、段々移住者が殖へ、奧へ進むやうになると橫に道を開けて次のエスタソンに出るやうにするから便利だと云ひ得る。今はチエテ沿に橋がないからバルサで渡り、自動車も馬車も其の儘乘せて渡るが渡舟では何んと云つても不便だ、尤も架橋費は現在チエテの組合事務所に用意して有ると云ふから、伯國政府の補助金支出が決まれば架橋着手と云ふ事になるさうである

當移住地總面積は四萬六千アルケーレスあると云ふ事であるが前號の本紙に記載したやうに、六千アルケーレスの詐認問題が附いてゐるから、組合も今度宮坂專務と武田書記官の來聖を機合に解決されると思ふが、原告が法律上正當の理由を以て引渡しを請求してゐるのださうだから、組合側も大概な所で妥協するのが利益でもあり、體面上良くもあると思ふのだ

製糖及び甘蔗酒製造工場は面積四十アルケーレスもあり、此の事業に當れる人は元イグアペ植民地に居つてピンガ成金と云はれた程の經驗の持主たる國行氏で、其の上資本の豐富な組合の事だから成功は疑ひなからう。それに又、移住者にしても一ケ年半アルケール宛カンナを植えると云ふ事だし、地味はカンナに適し株は上出來であるから、是れで糖分の分量さへ多ければピンガを造つても砂糖を製しても儲かる事、請合ひだと云ひ得る、が併し之も組合の經營方針が其の當を得るを前提としての見方であるから、若し組合當局者の遣方が惡いなら、反對の結果を招致するかも知れない。

下流アグアリンパ相互組合

矢野生

回顧すれば十七年の昔、ビリグヒ殖民地の草分けとしてビリグヒ驛より十八キロの地點、コールゴ・アグア・リンパの下流に第一斧を入れたる猛殖民の一團は、歷史は古く物語りも多いが名物男目黑靜氏の本據、聖州屈指の大商人大原榮藤氏發祥の地として有名である。

方今日本人の集團する處團體組織せられ學校設立せられ、每週の新聞にそれ等の報導せられるもの數ふるに暇なき程の現今に此の集團地あるを知れる人は多くゐるまじき程靜寂に沈默し、平和を保つて發展しつゝあるは偉とするに足るであらう。

團體の組織せられたのは大正六年、共同一致直に學校を設立し、伯國政府の公認を受け、伯人教師の派遣を得て教育を開始せしは、全伯國に於ける日本人小學校の鼻祖と云つても宜しいと思ふのである。

其後幾星霜、殖民地としては惠まれぬ事のみ打續き、殖民者中異動する者續出の有樣で、昭和三年の大異動を現出するに到り最早や此の組合の消滅を豫想せる人もありし程なりしが、其豫想は裏切られ、去りし人の跡は幾分外人の所有地と變じ、一面に白銀の花と裝ひし綿作地の跡は　カッピン茂るパストと化し、此の由緒ある邦人古戰場を弔ふ人をして懷舊の情を禁ぜざらしむる狀態にありながら、踏み止まつて尙奮鬪を繼續しつゝある殘餘の殖民者は、殘れるマットやカッポイラを伐つて新に珈琲を植え付け、其生育も美しく永住の決心は愈々强固に、少數家族の結束は益々堅固に、第二世の教育と衞生設備とを整へ殊に學校教育には熱心なる桐生高等工業學校出身栗山茂氏を聘し、父兄會を組織して學校と家庭との連絡を俟つて兒童教育の研究を怠らず、其衞生事業の如き組合外の近郷同胞にまで及ぼし、共存共榮の一路に向つて邁進しつゝ、其名も相互組合と稱する一團體である。

又其間に元氣に滿てる青年は、昨年一月栗山先生を會長に推し其指導の下に青年會を組織し精神の向上に努むると共に公共事業に盡力し、運動に心身を鍛練して組合と親しく提携し以て其職分を發揮しつゝある。

伯國政府のアマニアン主義に禍せられて學校は久しく日本語教育のみにて、伯人教師派遣の恩惠に浴せざりしも　アラサツーバ市長及び視學に其派遣を强要して矢野組合長、樋口會計、武出、松尾兩學務委員の寢食を忘れ、家業を放抛して數回に亘る東奔西走漸々其効を奏し、去る五月十六日伯人教師シエルシエス・ボアヴエンツーラ氏の就任を得、伯國教育令の下に肩身廣く第二世の教育をなすを得るに至りしを吾人は悅ぶものである

Adubo Puramento Organico

Cafe' Moido Com 5% Po' de Sangue

O Café moido pelo governo de E. de S. Paulo

Vendedor Jão H. Kurita

Rua Bittemcourt, 293 Santos

珈琲粉末肥料

五パーセントの血粉混合

珈琲	有機質	八八、四五%
	灰分	四、九七%
	水分	六、五八%
	燐酸	〇、六九%
	窒素	二、三三%
	加里	二、三八%
血粉	窒素	四、六%
	燐酸	一四、一六%
	石灰	一八、二〇%

サントス市ビッテンクールト街二九三

販賣人　**栗田平一**

YAMA-K. SHOKAI

SHIP-CHANDLERS

Rua General Camara, 133 SANTOS

大阪商船株式會社
國際汽船株式會社　**御用達**

各艦船食糧品賣込業

K合資商會

小淵友市
前田吉太郎

南米サントス市ジエネラルカマラ街一三三
電話セントラール一四七

SANTOS

和洋御菓子

電話番號三三七一

サントス市セナドル・フエジヨ街二五五

原田高式

百貨商卸小賣

菅山本店

イグアペ郡レヂストロ市街地

雜貨商卸小賣

アングロ・メキシカン代理店

菅山支店

ノロエステ線アラサツーバ町

郵函百四十五デ

雜貨商卸小賣

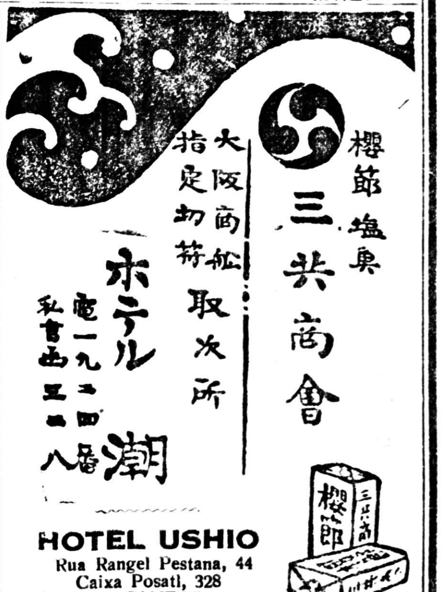
スタンダードオイル會社
ガゾリーナ・モーターノ印
ケロゼーネ・ジヤカレー印
特約代理店

菅山分店

ノロエステ線リンス町

電話六三

郵函二〇三番



櫻節塩奥

三共商會

大阪商船指定切符取次所

ホテル潮

電一九二四

私書函三二八番

HOTEL USHIO

Rua Rangel Pestana, 44

Caixa Posatl, 328

SANTOS

ノロエステ欄

珈琲栽培請負者は地主の負債に注意

珈琲の收穫期になつたし債權者は爪牙を現はし、其の實は一粒でも取つてはならぬと差押へを遣るのが出ると思つてゐたら、其の想像が的中し、最近リンス驛カンペストレーで三十アルケレスを持つ松本幸吉氏が二家族の六年契約者を置き、本年は最後の六年目で契約者も此の收穫を取逃してはと勇み勇んで收穫に取掛つた處、突然債權者から本年の珈琲は一粒もお前達が取ることならぬと差押へられ、驚いて取調べて見ると其の土地は二重抵當まで這入つてゐる上にピニヨーラカフエーと云ふので手も足も出ず、何も知らぬ契約者が迷惑してゐると云ふ事であるが、係う云ふ遣方をしてゐる地主が他にも有ると思ふから契約者は豫め地主に聞き合はすか又は他の方法で取調べ、右のやうな禍ひに罹らぬ樣注意が肝要である。

グア井サラ植民地　植民慰安會

去月廿一日リンス驛奥のグア井サラ植民地にては、昨今沈滯せる植民者の心を引立んが爲め、縱令一時的でも慰安し合ひたいと云ふ意味から役員諸氏の努力に依り協議一決し、晝は運動會夜は日伯シネマと盛大なる慰安會を催したのであつた、當日は附近のカンペスタ、サンジョアン植民地並に多羅間耕地等から多數の來觀者があつたので意外の賑やかさを呈し、始めから終りまで順序正しく愈々閉會したのは深更十二時過ぎであつた、尚ほ役員の顏觸れを揭ぐれば左の如くである。

支部長理事　林八三郎
會計　佐藤吉治
區長　山田和市
同　川口勝
同中央日會評議員　上原清松
同　佐藤與一郎
衛生委員　田中作五郎
伊藤平次郎

鐵砲の過ちで　弟が姉を殺す

危險な事もあればあるものだ、アリアンサ移住地の第五區で島田と云ふ夫婦が小供を殘して畑仕事に出た後で、親父が日頃鐵砲に彈を込めて萬一に備へ置いたを、何うしたものか七歲になる男の子が此の鐵砲を持出す途端出口の敷臺に躓いたので、引金が脫れ、ドンと飛び出せし彈が運惡くも庭先に遊んでゐた十二歲になる姉の胸部に中り、親が畑から歸つて來た時は死んでゐたとは可哀相な事で、是れにつけても子を持つ親達は拳銃や、獵銃や其の他の兇器の仕末に呉れ〲も注意すべきである

近田ドクトル　リンスに落着く

日本政府より伯國留學醫として派遣せられ、今回リオ醫大に於て開業試驗にパスした近田醫師は、ノロエステ線の中心地リンス市に落着き開業診療に從事する事となり、近日中に家族同伴來住さるゝ筈

アリアンサ　青年連の努力

アリアンサ青年會では、今年度汎ノロエステ・スポーツ聯盟の本部を承まはり、準備おさ〱怠りなき樣子なるが、中央部のグラウンドを擴張する事になり毎日曜青年總出で、整地工事を爲すの多忙振りを示してゐる

又しても　耕地での慘劇

カフエーランジャ驛シャンテンプレ耕地は百餘家族の邦人コロノ就働中であるが、同耕地フイゲイラ區に在住する福島縣人8某は同耕地日本人通譯某の爲め自宅に於て射殺された事件が突發し、ペンナ警察の手にて兇行者一味（外人もゐたらしい）が引致取調べを受けつゝある、原因は二百五十ミルばかりの金錢問題から起つたものらしいとは情けない

大豆工業會社の代理人定まる

リンス市廣木合名會社の株主にして米穀及びサッコ商賣に薄利奉仕的に奮鬪をなしつゝある、新進の山本重助氏は今回サンパウロ市に創立せられた大豆工業株式會社のリンス代理人として大豆賣買、委託販賣、滿州種子の取次、同社製品の取次販賣等を開始することになり、此の新事業に對し大いに宣傳に努めつゝある

澁谷商會のボヤ

去月十八日正午頃リンス澁谷商會の販賣棚の上でサンジョアンに使ふ花火を販賣中どうしたはづみか小山と積んだ小花火から出火してポン〱と時ならぬ大音響と共に四邊に置いてあつた物にまで火が移りてスワコソ一大事と人々が馳せつけ、店員と協力鎮火に努めた爲め大事に至らず、濛々たる煙硝の煙りや、見物高い市中の群衆で一時は大騷であつたが、パット彈ける線香花火であつただけに損害は僅少であつたそうだ

座談會

武田書記官を中心に

打融け話

去月中旬、故國からはる〲伯國視察に來られた武田拓務書記官の來駕を機會にアリアンサ移住地では武田氏を中心に座談會を開いた場所は第一移住地の馬場旅館內で、日時十六日の午後六時からであつたが、傍聽者として中央區の有志と附近の青年達とで主演者の顏觸れ及び談話の大要は左の如くであつた

弓場氏「アリアンサの青年は槪して眞面目です、日本から持つて來たスポーツ精神で土に親しむの賞はすべしだ」と云へば武田氏「それは結構だ、日本現在の敎育方針が實際的でないので困まつてゐる折角大學や專門學校を卒業しても働き口が無いので不平たらたらであるが是れと云ふも一般的に向くやうに敎育されてゐないからの事で、何うしても敎育の根本方針を改むる事が急務だ」と語り、次にアリアンサ會長の吉川氏「日本大學程度の失業者を此の伯國へ持つて來る事は危險だ、送り込むなら一年位ひ勞働方面の實物敎育を施してからのことだ」と暗に武田書記官に注意するが如く語れば、新歸聖者の輪湖氏「吾々ブラジルに居る者の第二世には日本語を十分に話せるやうに敎育すべしだ」と實感を語り、次に三坂氏「青年は先輩を尊重して青年らしき所を發揮せねばならぬ」と言ひ●●●●極めてしつくりと話合つた後、更に有益な話を交換するを見たのであるが、恐らく斯くの如き會合はアリアンサ移住地始まつて以來のことだらう

和洋御料理、即席珍味
御旅館
伊勢屋
宮坂實郎
ペンナ驛カフエーランヂア町

物理療法の權威
はり、きゆう、マッサージ
家傳　石井療院
ペンナポリス郵函壹壹
新進の電氣療法

DR. H. SAITO
MEDICO
Rua Inconfidencia, 6-35
BAURU　E. de S. Paulo

醫學博士
齋藤等
バウルー市
インコンフイデンシア街六ー三五
電話……二六九

何時にても左記處ので診療の御需めに應します

齒科醫　向井文松
北西線プロミッソン町
郵函……九七番

募集

一、珈琲精選工場に於ける作業に經驗あるマキニスタ壹名雇入れ度し
二、コロノ數家族募集す

詳細は左記へ至急照會あり度し

C. KITAHARA
Faz. Alliança Est. Lussanvira
L. Noroeste

アリアンサ移住地事務所

和洋御料理　室內淸潔
御旅館　丸石
ノロエステ線カフエランジャ町
丸石ツナ、同八重子
當館へ御宿りの方には特にカフエランジャ驛迄の御出迎御見送は無料で御便利をはかります

○戸樋其他錻力細工一式
○建築工事請負業
古崎春一
ノロエステ線カフエランジャ町

▲ハリ
▲キユウ
▲マッサージ

慢性諸病を根治する東洋獨特の治療術
針、灸、マッサージ術
川原療院
リンス市セテ・デ・セテンブロ街八十番

△男女洋服　△ブリン　△勞働服　△洋服洗濯
矢部洋服店
リンス市ルイス・ガマ街（菅山分店の隣）

Casa Aoki
Armazem de Seccos e Molhados
Lins

內外品雜貨
小間物、吳服、食料品
日本品一切
卍
青木商店
ガゾリーナ・エネルジーナ
北西線リンス町（公園の角）
郵函……一三七

在サンパウロ日本人職業案內

サンパウロ市に印刷工場を有するイルモンス・ジロッチ商會の企劃で在サンパウロ日本人職業案內書が發行される事になり、聖州各地に散在する邦人の職業調査を同商會特派の調査員ブラジリノ・デ・カルヴアリヨ氏がノロエステ方面を擔當して、材料の蒐集に巡回してゐるが、その談によれば、同書は雜誌用の良質紙を使つて、寫眞版や地圖は同社特獨の技術を以て、裝幀も堅牢優美なものとし、三千餘の邦人職業別に依る紹介を日伯兩語で附するとのことで、既に下記の如き百三十餘の邦人が豫約申込をなしたとのことで出版の曉には邦人の實況を伯人間に紹介する唯一の寶典となろう。豫約申込者氏名をあぐれば左記の如し

濱口光雄
香山六郎
芳賀仁吉
古賀政治
沖山必平
瀨木商店
澤尾磯七
溝神金助
安戸敏行
須崎兼房
大久保伊藏
三坂嘉藏
手塚虎藏
古賀仁市
古賀伊三郎
平田源藏
鹿毛國太郎
內山常太郎
柳原平次郎
牟田虎吉
名三次郎
松本重作
小野原善三郎
原濱太郎
前岡鐵夫
平田千嘉藏
渡邊平田商會
飯田彥光
渡嘉敷唯正
比嘉松發
原實藏
田中庄助
源河孝永
矢部政三
本田安記
宮平市助
中須矢吉
農田源行
水城磯次
森部一衛
太田久次郎
澁谷商會
宮川爲治
相原理髮店
下谷治三郎
保科松五郎
丸山丈夫
水木眞澄
高橋善七
村田親
多羅間鐵輔
佐藤次郎
本田授
藤井正人
川上龜喜
阿部糸松
藤田要人
大場善造
志鶴正之
小坂三次
井上熊太
山本馬次
森留次郎
谷屋孝助
原田牛四郎
小川秀夫
岩田茂一郎
豐本己之八
井上松一
中山龜市
ペラ・クルス日本人青年會
櫻木鐵造
後藤松尾
諸永金鄕
梶原藤吉
青木良助
廣木合資會社
高橋忠一
菅山輝吉
手島良太郎
吉住幸七
二田初太郎
平田金太郎
山崎休太
古賀喪三郎
橫溝金太郎
大松鶴松
岡田太田商店
山下龍造
城間善吉
原篤
上田留治
齋藤好信
景山博史
原口崎藏
中山三夫
青柳牛吉
長谷川留次
梅原善兵衛
宮川治太郎
纐纈鎮夫
岡崎場恍
倉岡進
田中連三
矢野正一郎
安元青太
前岡鐵夫
沖商會
橋本傳吉
矢野正實
本田勇作
馬田謙太郎
藤田清
矢野友次
池尻源八
桑石正樹
別府藤吉
三坂六平
井戸清
別府政吉
田中寅太郎
笠佐藏
柳原勘兵衛
岩橋數摩
柳原正藏
上村年男
堺清三郎
細野八藏
佐藤熊太郎
小野原壽萬志
渡邊平田商會

夏目漱石傑作
虞美人草後篇

三四郎

—60—

「それもさうですね。」

「あの奥樣、小野さんが入らつしやいましたが、どう致しませう。」

「女中の君やが障子の外に畏つて訊ねた。母親と藤尾は顏を見合した。

「さうかい、いいからこちらへ通しなさい。」といつて

「噂をすればなんとやら、ちやうどよかつたぢやありませんか」

「まつたくね。」

「それぢや、わたしはあつちへ行つてゐませう。」

母親は出て行つた、ちよつと間を置いて、入れちがいに來たのは小野さんだつた。

「ごめん下さい。どうも御無沙汰しました。」

そこにあつた座布團を引きよせて座りながら挨拶した。

「いらつしやい。」

「たびたびおたづねしましたけれど、いつもお留守だつたものですから、ついどうも……」

「あら、さうですか、ちつとも存じませんでした。」

「好い陽氣になりましたね。どうかお遊びにでも行らつしやつたんですか。」

「え、近頃はよく出かけますものですから。」

「さうのやうですね。此の前の日曜日にもお留守でしたね。」

「此の前の日曜……とああ、さうさう。佐藤さんとお花見にまゐりました時でせう。」

佐藤ときいて、小野さんの眼は異樣に輝いた。

「さうでしたか、どちらに行らつしやいました。」

「小金井へ參りました。」

「丁度見頃でしたでせう。」

「でも、あんなところは俗化してゐますから、ほんとうに花見といふ氣分はしませんわ。」

「まつたくです。道化姿で醉つ拂ひの狂態を見にゆくやうなものですね……佐藤君ちよいちよい來ますか。」

「よくいらつしやいますわ。」

「さうですか。」

何でもないやうに裝つてはゐるものの、其の眼は嫉妬の焔に燃へてゐた。

「たいそう優しい好い方ですね

「え惡氣のある男ではないでせう。」

「ねえ、小野さん、あなた何を祝つて下さるの？」

「祝つてとおつしやると何か目出度いことゝもあるのですか。」

「え、わたしのために、一生一代の目出たいことがあるのよ。」

小野さんは頗るあわてた。けれども強いて落ちついて、

「あなたのために一生一代のお祝事……」と空とぼける。

「わたし、結婚するのよ。」

「えつ、結婚……誰と結婚なさるんですか。」

「こゝのところ秘密ですの。」

「さうですか、宗近君ですか。」

「まあ、いやなこと！」

「それぢや誰ですか。」

「申しませうか。」

「佐藤さん！」

「えつ、佐藤君と？」

「さうですの！あなたとはかうして永い間おつきあひしてゐましたから、一番いいものを祝つていただきたいの。」

小野さんは何とも答へなかつた。

「おいや？」

「祝いませう。」

「何を？」

「さあ、何がいいでせうね。」

小野さんの顏は凄い程蒼味を帶びてゐた。さうして口許は神經的に動いてゐる。

これで小野さんは完全に宣告を與へられた譯だ。實は近頃小野さんが度度訪ねたのは、結婚を申込む爲であつたが、から先手を打たれてしまつては、ぐうの音も出ない。

「ほんとうですか。」

小野さんは藤尾に擔れてゐたいと思つたが、藤尾は眞面目に、

「あら、ほかのことと違いますわ。」と言つて、小野さんのがつかりした心がはつきりとあらはれてゐる顏を、小氣味よげに見た。

「何時ごろです？」

「さうですわね、五月の中旬ごろになるでせう。」

小野さんは自分が幾度訪ねても留守だの、不在だのと言つてゐたのが、悉く嘘であつて、さうした時は、何時も佐藤が來てゐたのだらうと思ふと、妬ましくてたまらなかつた。

さうして何せ早く結婚を申し込んで、完全に自分のものとしておかなかつたらう？——なぜ佐藤を歌留多會の夜誘つたらう？そんなことを考へると殘念でたまらなかつた。けれどもはじめから藤尾に弄ばれてゐたことには氣がつかなかつた。

佐藤といふ男が飛び出して來たから藤尾の心が變つたのだとしか思はなかつた。

「ほんとうに、何か祝つて下さるでせう。」

「お祝いしませう。」

小野さんは仕方がなく言つて、

香りのエロチシズム（一）

人の體臭は香いの交響樂

H. B.

香辣な夏の宵闇が迫つて享樂の都は、流行のヂャズの音に包まれると、健康人の性慾は一日の疲れから赤々とよみがへる音と光りとそして香りが、まんじともゑになつて渦まいてゆく時、僕にとつてその香りはより高踏的に僕の神經に喰ひ入らうとする、香なりは未知だ、音や光りから受ける物理學的の反應の裏にひそんでゐる藝術が有難いものゝ一つであるのは勿論だがまだ科學では征服しきれない香なりには底知れぬ有難味や、恐ろしさと秘密がひそんでゐるんぢやないかと、殊に都會の夏にめぐりあふ毎に感じられて來る。

◆

藝術品としての香水の愉快さは別として體臭としての性の躍動も面白いと思ふ、女でも男でも、人めい〳〵に獨特な體臭のあることは古くからいはれてゐる——アレキサンダー大帝はその點で有名だつたさうな——いつも大帝の身體からはすばらしい愉快な香りを發散して、大帝に一度面接したものは、いつまでもその匂ひを忘れることが出來ない上に若い女性たちにひどく好かれるたちのものだつたといふことである。

◆

かうした幸福な體臭の持主は詩人で有名なホイツトマンやハイネにも見られたと傳へられてゐる。けちをつけるわけでもなからうが、精神病學者の一派は、これらの仕合せの體臭の持主を病的神經狀態といふ言葉のうちに縮め込んでさへゐる

◆

人めい〳〵の體臭はそれなら何だらうかといふことは、性學者のエリスは次のやうに記してゐる

（一）淡いが氣持ちのいゝ一般的の肌の香この香りは洗つても洗つても直に肌に出て來る。（二）毛髮、頭皮のにほい、（三）氣息のにほい、（四）わきの下のにほい、（五）足の裏のにほい、（六）陰部のにほい——これらのにほいが混然として人めい〳〵の、つまり個の香を出すのだといつてゐる。

◆

ある通人に云はせると、同じ都會でも山の手と下町、花柳界と素人家の女等々、場所々々職業に依つて體臭が異り、それらの體臭を嗅ぎわけて、この女は山の手あの女は下町といつたやうに鑑識して違はないといふ、通人もあるが、さうした人の嗅覺の鋭敏さには感嘆せざるを得ぬ

◆

かうした體臭も未だ科學的にその成分は判らぬが大體の見當はつくものゝやうだ赤ん坊のにほいは酪酸の香りで、老人のは乾いた葉のにほいに似てゐるさうだ。そして節制のある若い男は不貞なものより一層強くにほふといはれる、ある學者などはその強くにほふのは精液のにほいで、つまり節制による精液の濃さを示してゐるんだとさへ極言した。

神經の鈍くない男女が信ずるやうに、性的に亢奮した男女の皮膚や吸呼からは妙に誘惑的な香りを放つのは確かであらうこの香りを、ある人はケーヂョのやうだとも、クロ、フォルムのやうだともいつたセントフイリツプ、ネリが體臭によつて貞節な男女を見わけたことは有名である

SUL AMERICA
TERRESTRES MARITIMOS E ACCIDENTES
Succursal S. Paulo　Rua Boa Vista, 31 5º　Caixa Postal. 702

3.779.965.714$560
（約九億五千萬圓）

昨一千九百三十年中に伯國に活動せる全保險會社が保險契約に依り受取りたる掛金の總額であります

そして

火災海上傷害
保險會社
スール・アメリカ
（生命保險會社 スール・アメリカと同體）は

依然として第一位の王座を占めたのであります

尚詳細は會社直接又は左記代理人へ御照會を乞ふ

代理人　遠藤八郎

お待ち兼ねの國定教科書が着きました
賣り切れぬ内今すぐ御注文下さいませ

國語讀本	卷一	一・〇〇〇	修身書	五、六	一・四〇〇
同	二、四、六、八、九	一・四〇〇	國史	尋上卷	一・八〇〇
同	三、五、七	一・三〇〇	同	同下卷	二・七〇〇
同	一〇、一一	一・七〇〇	同	高上同	二・九〇〇
同	一二、高一	一・五〇〇	同	同下卷	二・八〇〇
同	高二、	二・一〇〇	地理書	尋上卷	一・七〇〇
同	高三、四	二・〇〇〇	同	同下卷	二・二〇〇
算術書	兒童用	一・〇〇〇	同	高上卷	一・五〇〇
同	教師用	一・三〇〇	同	同下卷	一・四〇〇
修身書	卷一	七〇〇	地理附圖	尋常科	二・五〇〇
同	二	八〇〇	同	高等科	二・九〇〇
同	三	一・〇〇〇	理科書	尋四、六 高一、二	一・一〇〇
同	四	一・一〇〇	同	尋五	一・三〇〇

湯川弘文堂發行の新研究に依る最も良い全科書
自尋一至尋四　前後期各四ミル九百
自尋五至高二　前後期各七ミル
理想的練習帳　國語算術　尋一、二、前後期四ミル九百
別に送料として實費申受けます（約十冊に就き）一ミル

聖市
郵函二一九九五號
中矢商店

バナナ歩合耕作者募集

一、水及氣候頗る良くマレイタの恐れ絶無
一、歩合耕作面積は可成耕作者の希望に從ふ
一、バナナ園は既成にして收穫量多し
一、住宅バナナ置場等の設備あり
一、バナナ以外に協議の上雜作を許す
一、耕作者は成る可く三名以上の働手を有する家族たるを希望す
一、當園には和蘭バナナ輸入會社との特約ありて他園よりも特に有利なり詳細は書面又は御面談の上取極めたし

ジユキヤ線ヒードロ驛
古谷農園監督　松末茂三郎
Faz. Furuya Cedro L. Santos-Juquiá

治病器
オキシヘーラー

よく効く

オキシヘーラーは血の環を良くし、病を根から治す家庭療器

その特長は

第一、人体に爽な感じを與へ、知らず識らずの中に病を治す。厭な感じの電氣治療器、傷い手術、苦い藥等のみが病を治すと思ふ人には天來の福音

第二、器械は使用書を見れば、何人にも使へる何の面倒もない。

第三、効力は器械をつければすぐ起る。その上使用回數を增すからとて、効力は少しも減じない。眞夜中に頭痛を覺ゆる時などには最も適當。

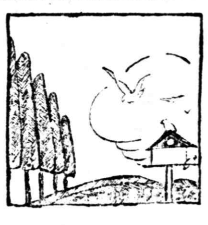
第四、家庭用は卅五弗、醫家用は五十弗なるも一度御求めあれば十年も二十年も、僅な維持費で使へるから、結局は非常に廉いもの高い藥代や、入院費に比ぶれば、オキシヘーラーの價は問題でない本器によると、一年一家の健康費は、僅かに五六弗。

第五、オキシヘーラーは何時でも——步て居つても、働いて居つても、寢て居つてもかけられる。大人も小人も婦人も男子も使へるその上何んな病氣にも應用されるから重寶

本會は十有八年の歴史と、世界に誇り數十萬の愛用者を有してして愛用者諸君が如何に熱心に本器を使用されてるかは、御希望有の實驗例を御覽あれば一目瞭然、この歴史、この愛用者、それ丈でも、如何に本器の有効なるかゞ判ると思ふ。

説明書附實驗例無代進呈
東京市牛込區神樂町一
オキシヘーラー奬勵會

本器販賣特約御希望の方は御申込乞ふ



ソロカバナ線

幸運植民地

中央小學校落成式

政府の補助と植民者の寄附とに依つて建築工事中であつたジョゼ・テオドロ驛幸運植民地中央小學校は、其の後工事着々進捗して去る二十二日正午盛大なる落成祝賀會を催せるが、當日來賓として遙々聖市より地主コロネル・ジョン・ゴメス・マルチンス氏及び一令息二令嬢を筆頭に、レジエンテ・フエジョより牧師ピセンテ・フオンタチット氏、其の他當地知名の士多數臨席あり、邦人側よりは聖市父兄會の木村末喜氏、聖報記者伊丹氏並に遠藤時報支社主任の出席があつた尚茲に特筆大書すべき事は、マルチンス氏令嬢ピアナフレタス・マルチンスさんより日本、伯國葡國の三國旗を寄贈されたことで、一同感謝してゐる。

◇式順左の如し

一、國旗掲揚式

當地グルポエスコラル生徒の伯國々歌邦人小學兒童の君が代合唱にて三國旗掲揚。

一、三國旗寄贈者ピピアナ孃祝詞。

一、學校代表者の挨拶。

杉義夫會長の外人來賓に對する謝詞及挨拶あり。

一、來賓祝辭

一、會員の祝辭

富田氏、青年代表光岡氏

一、閉會之辭　副會長黑岩實氏

右終つて宴會に移り各自十八番の餘興で歡を添へ散會したのは五時頃であつた。

木村末喜氏來ブ

聖市「父兄會」の木村末喜氏は、ソロカバナ線に於ける小學校實地調査の爲め去月十日聖市發當線に來り、太陽植民地を振り出しに文化、バストス、幸運と諸植民地を順次巡廻し、去る二十二日プレシデンテ・プルデンテ着一泊、二十三日郡視學代理ジヨアンボアキ氏に面會種々打合せを爲したる上日本人會館及び寄宿舍を視、午後三時發のミストにてア・マッシャードに赴いた。

オウリンニヨス同志會

日本人會と改稱

去月七日、オウリンニヨス日本人同志會では第三回定期評議會を開催し、會務を報告して後重要事項を協議せるが、此の報告に依ると同會創設後會員の努力は大なるもので、會の發展に見るべきものありしは勿論、當地在住邦人全部の入會と云ふ盛況を示し、諸事都合よく運び今回愈々同會をオウリンニヨス日本人會と改稱することに決定した尚は當日は、豫て幹部に於て立案中であつた日本人會附屬農事部設置の件に就重ねて協議の結果、之れが設置は刻下の急務とあつて即座に小淵直吉氏を部長に推薦し、農業に關する一切の事項を同氏の擔任としたから、問合せの向きは小淵氏宛にと云ふ事に決まつた。

浪界の二寵兒

ソロ線の旅に就く

松竹映畫宣傳の爲め、歐洲巡遊後伯國に立寄れる關東派浪界の花形東家樂信、及び澤井天城の兩氏は去る十八日バストス移住地着二十日夜芝居小屋にて試演したが豫期以上の好評を博した一行はランシヤリヤ、プルデンテと順次奥地を廻り歸途各驛に立寄る筈であるが、折角持參した映畫は税金の都合で陸上げ出來ぬので、カンタブラボにて聖州邦人集團地を巡業するとのこと。

ソロ線競技界の王座をねらふ各チーム

—出場十二團體三百餘名—

バストス聯合青年會主催オールソロカバナ陸上競技大會は意外の人氣を博し、眠むれるソロ線競技界に一大センセーションを起した、大會に先き立つこと三日前の十五日にオーリンニヨス軍先頭に選手應援團續々と押しかけバストス原頭未曾有の賑ひを呈したが、集る者總べて十二チーム、ジョゼ・テオドロの六十二名を最高として無慮三百名に達した。

時は六月十八日＝入植三周年紀念、學校、病院新築落成の佳き日をトし、汎ソロ線第一回陸上競技大會の火蓋は切つて落されたのだ。當日小學校正面に緑門を造り此れに添ふるに日伯兩國旗を以てし、場内には小學生の手になれる小旗を張り廻し來會者清新と敬虔の感を與へた、午前八時新裝なれる廣大なる講堂に於て落成式を擧行後午前九時畑中主任の挨拶に依つて開會、百米の豫選にかゝつたが參加チーム左の如くである

オウリンニヨス青年團

チエテ青年團

バストス聯合青年團

太陽青年スポーツ倶樂部

プ・プルデンテ聯合青年會

文化青年團

マリリア青年會

プレジヨン聯合青年會

プ・ベルナルデス青年團

幸運聯合青年會

青葉青年會

ピラ・ジヤボホーザ青年會

右の如く參加チーム十二の多數に達したが、役員の洩れなき手配りにてプログラム通り進行した、當日戰跡の概況を議すと

◇トラック

百米決勝に殘つた人々は、パ軍の橫溝、加納、溝部、ブ軍の岡澤、尾形、チ軍の大坪の六名で、パ軍とブ軍の爭ひの如き感を呈した、豫選の時十二秒五分ノ一を出した尾形途中躓づいた爲め長驅の橫溝一着を占め、岡澤、大坪の順となつた。（記錄十三秒）

二百米—ほゞ百米と同じ顔觸でパ軍の橫溝、溝部、ブ軍の岡澤、宮本、幸運の加藤、太陽の大山の諸氏準決勝に殘つたが橫溝常に先頭を切り岡澤、宮本の順（記錄二七秒五分ノ二）

四百米—決勝では味野（パ）、毛利（ブ）、永松の順に入る。（記錄一分三）

八百米—豫選に於てブ・ベの堤二分二二秒出したが、決勝の際悶くなり好記錄出ず、パ軍の廣岡一着を占め、加藤（幸）、堤（ブ・ベ）の順となつた、トラックでは短・中距離とも斷然パ軍が押へた。（記錄二分二四秒五分ノ四）

千五百米—廣岡、加納、岡林で全部パ軍に占められ、一擧六點をリードされた、記錄も良くない一體に中距離選手の少ないのは遺憾であつた。（記錄五分）

五千米—短距離と長距離に自信を以て出場したブ軍も短距離ではパ軍の橫溝に占められたので、辱をそゝぐは此の一戰とばかりに奮鬪島崎常に先頭を切り、ゑび名（文）、名切（青）の順でゴールイン。（記錄一九分）

一萬米—頑丈なる體軀と强壯なる心臟の持主ブ軍の茶屋通、走れば走る程身體の調子が良くなり、十二粁の三共村からプルデンテ迄カミニオンと共に走つて負けた事がないと云ふ剛の者、太陽にて折紙附の黑澤之れに應戰、約三十周抜きつ抜かれつの接戰を演じて手に汗を握らせ、熱戰又熱戰遂に抗し得ず茶屋通斷然抜いて一着餘裕綽々は恐れ入つた、此の競走に於て聖市記錄を破ること一分三〇秒、黑澤（太）望月（マリ）の順。記錄三十八分五四秒）

四百米繼走—ブ・パ兩軍第三走者迄大接戰を演じたが、最終走者橫溝頑張りパ軍一着、ブ軍二着、文化三着となつた、此の競走パ軍コースエラーで大部揉めたが高柳審判長の宣告にて落着。（記錄五五秒五分一）

千六百繼走—スタートよりブ軍第一走者伴藤勇躍トップを切り、次走者宮本又茲を最後と躍進、パ軍第二走者味野との差五米に達し、ブ軍最終走者岡澤に移つた時は其の差七米になつたが、パ軍最終走者橫溝又頑張つて其の差を縮めたが成らず、ブ軍悠々ゴールに入る。（記錄四分十八秒五分ノ四）

斯くしてトラック橫溝一人の頑張りにてパ軍九點を得、ブ軍力鬪せるも覇業成らずパ軍二三點、ブ軍一六點で第二位とな

◇フィールド

走高跳島田（マリ）、溝部（パ）、佐伯（パ）吉村（ブ）の接戰となつたが、島田綺麗なフォームにて勇躍一米六五を跳んで聖市と同記錄を出した、他選手追隨し得ず島田の一人舞臺となつたが一米六五以上出なかつたのは惜しい。

走幅跳……島田（マリ）、味野（パ）、高橋（文）、宮本（ブ）、互に記錄を爭つたが島田遂に五米九三を跳んで聖市記錄を破り邇來のマリ、ア軍の爲めに萬丈の氣を吐く。

三段跳……島田（マリ）、橫溝（パ）、橫山（文）、宮本（ブ）と殘り跳躍したが、島田十一米五三を跳んで他の追隨を許さず、橫溝十米八七より出でず、橫山十米四七で三番となつた

棒高跳……マ軍の高森一人殘り奮鬪したが二米八五より出なかつたのは惜しい

砲丸投……此の競技に遙々ノロ線ペンナより平岡君個人選手として出場したので一段と光彩を添へ、高森（マリ）齋藤（ブ）毛利（ブ）四名鎬を削つたが平岡九米七五を投げて聖市にて造れる自身の記錄を破り、高森又之に續かんと頑張つたが八米九七より出なかつた

圓盤投……高森（マリ）、齋藤（パ）、川崎（チエ）、平岡（ペ）と殘り記錄を爭ひ平岡斷然投げて聖市記錄に肉薄したが、二七米六五しか出なかつたは惜しむべし、高森二六米五一、齋藤二四米一二、川崎二三米三一

槍投……高森（マリ）、齋藤（パ）良く投げたがファウルして採點にならず最後に高森四二米二五を出して聖市記錄を破つたフイールドでは高森、島田の善戰にてマリリア斷然リードし、マ軍二十一點、パ軍十三點となつた、今回の競技大會はソロ線最初のものであり殊にフイールドには無經驗者多く、圓盤、砲丸、槍等持ち合はさぬ青年會多きソロ線の現狀としては好記錄の出なかつたるは止むを得ぬ事ながら、沈滯せるソロ線運動界に一大刺戟を與へ、之れを一轉期として今後の進歩發達期して待つべきものあるを認め得しを幸ひとする

Fazenda Atomiya

Caixa Postal, 169 — Cambará
Linha S. P. P. — E. do Paraná

北パラナ

後宮耕地

今年度契約希望者は至急御申込み下さい

昨年度は申込者多數のため殘念ながら應募者一部をお斷り致しましたから今年滿員にならぬ内至急御申込み下さい

廣告

マリリア町附近に於て四ケ年契約借地農希望者を募集致します
場所同町より八キロ米の地點
御希望の御方は左記へ御照會下さい

パウリスタ延長線
マリリア驛　郵函E
富永果物店方
萩尾平藏

CASA TOZAN

MIZUKAMI & CIA.
COMMISSARIO DE CAFE'
Rua Cidade de Toledo, 25 —— Santos

カーザ東山

ソロカバナ線總代理人　木村孝太郎

各驛代理人

パラグアス	黑岩秀吉
クアター	柞磨宗一
ジヨゼテオドロ	今村新藏
プレシデンテ・プルデンテ	片岡音市
アルヴアレス・マッシヤード	木村孝太郎
サント・アナスタシオ	澁谷駒平
プレシデンテ・ウエンセスラウ	關常一

北パラナ地方總代理人　臼井介仁

Batatas para Semente

Arthur Loureiro & Cia.
Rua da Cantareira, 17-A S. Paulo

◆馬鈴薯種子

最近當會社宛に八千俵の良種、馬鈴薯種子が着荷目下州立公設倉庫內に保管中であります

當會社は州農務局商工課に登錄濟公認輸入商として亞國方面から良種の馬鈴薯種子を直輸入して一般農家の御用に應じつゝあります

尚當會社のソロカバナ沿線代理人に左記の人々を指定してありますから宜敷願上ます

代理人　レゼンテ・フエジヨ驛　ジヨゼ・マリオ・ドミンゴ
アルバレス・マッシヤド驛　井上商會

SEMENTES DE ELITE

DIERBERGER & COMPANHIA
Rua Libero Badaró, 20 — Caixa Postal 458 — S. Paulo

精撰種子

當商會の蔬菜及花類の種子は優良新鮮、發芽率百プロセント、常に最良最大の成績を栽培家に提供して居ります

日本文及葡文のカタログ御申込み仕第進呈いたします

御註文や照會は成可く葡文で願ひます

チエルベルチエル商會
種苗部

◎文藝◎

「短篇」午後

暮桶伸

歸りである彼の、二回目の買物の爲に殘り少なくなつた、よごれた紙幣が上衣の內懷で暖まつて惡臭を放つた。

都會がもし、人體であるなら、脚部のいや足指である感じ鈍い土よごれた場末の商業取引所は閑散な笑とそれにつれる動作が、駄馬車の樣に遲くなつた日脚の中で反撥する。

彼は乘合自動車待場の壁に背中冷たへしてゐた。

空は雲を地平線の方におしのけた。

おし並ぶ屋根瓦の一枚一枚が、テロンに見ゑた、雨の降らない日のテロンは屋根瓦に見ゑ、彼はそれをぶつつぶす、雨なのだが（待つてゐる）……雨の降る日には室內の女主人愛好のバラの花に水をかける、それなら表の雨に打たせればよからうが「出してはいけない」美しい花は表の荒ぶ風や、陽に當ると感冒を引くのです、そして雨の降る日に別れた女は……

女は貧乏が嫌で、金持の處に嫁に行こふとして、彼を捨てた。物質文明は彼女の生ひ立ちから追ひ立て、ブラジルに來る時そんなものを打ち捨て本當の理想郷を作らうと思つたが、來て見て働きが段々に彼女におひかぶさつて、處女を捧げた男があつたが、そんなものは糞喰へ、自分は、自分は、自分は……自分は胸が高鳴るのを見ても解る事だ、まだ純情はあるはずだ、金持の仕事の少ないあの男と結婚して何が惡からふ……。

彼にとつては雨が一番慘だ。

彼は潤一と稱はれた、常に温情主義によつて養はれた日本人勞働團體に最近個立した植民者だ。

消極的金融政策と世界不況は彼の日常から緩漫的な生活を根引して人間的生活を生活する人間たるべく數へた彼は一切を無言の中に驀して行かればならない、廻轉する機械のやう働らかればならない、そして自分の肉體が多くの人達の運轉資金である事に慣れればならない。

新らしいシプロレーのカミニョンは止車して、世馴れた音聲が、潤一に話した、YA、イダリツクの太文字の箱組で、記憶からすぐ呼び起きた好雄安宅が顏を赤く笑つて見せた、故示的な道路の眞中での止車が彼を氣遲れさせたが、世相的な一劣性現象だと氣付き、それに勝つ事が此後の彼を力強くすると思つて進んで白いセルピツツ袋をカルセリアの中に投げ込んで運轉手臺の窓を開けた。

「歸りかい」

渡航の船中でと變らない言葉が物を言ふ

「……」

腕時計を見て、一時近い

「すぐ歸れないか知れないが、乘つた」

其後の行動、御挨拶や芋の相場、初回である彼潤一の芋植に對する現況より推察しての悲觀說、そうして巧な動作と驚愕の色で警笛をおしながら車を走らせた、空氣は歩いてゐる時よりも、生温に雨ではないかと思はせた、安宅が大きな家族移民であるにせよ、同船者の車に乘つて歩く事は何の關聯もない知れ切つた道と屋趣とは違つた一つの意味を持つて潤一には眺められた。

肥料會社出張所の前で車を止め、安宅は手續をして事務員の机の前に立つた、そしてすぐ出たが一人で笑つた、笑いの中に一沫の倦怠が見ゑた。

肥料前借の交渉だと潤一は思つたが、青草と馬糞三十俵を拾ひ集め、貰い集めた自分の沈默した陰鬱さ、たたき出されるやうに追つて來る社會の荒涼さ、現在では物數を言はなくなつた自分を示す爲にの顏が廻想的に見られる、彼の方に眼を向ける度に笑つてゐる安宅とを……つい未だ、船中での自分の出來事そして自分達の狂亂な行動を嘲笑つてゐるかのやうに思はれて、椅子にのさばり返つた安宅と不味な伯國語で調戯ふソルペツテを命じた伯國女の背中を指で突き押した態度そして「この女は日本人には馴れ切つてゐるんだよ」と說明する事も、浮ぬ氣に目答した、二人は飲食店に這入つた。

十八九才になる青い着物を着た女は、投げ出した安宅の足にも構はず彼の體にすり寄る樣にして、ソルペツテを机に置いた、安宅は女の視線を待つやうに、女を見上げた、女は笑ふと靴音を立てて去つた。

彼は何故今こうした場所で考へるのか、馬鹿氣てつまらない今が何を創り出そふとするのか解らなかつた。

「出張所長は未だ來て居ないが、多分駄目だらふ」「前の分も拂つてゐないんだからなー」

「うまく話すといいね、君達はお客樣なんだからね」

「しかし、お家族はどうしてゐるね、お便があるんか」

安宅は少しもあらたまつたが、かぶせる樣に聞いた。

「俺は別れた切りそふ云ふ事は知らないがね、ノロエステの方に居るらしいよ、あの母は半身不隨になつたと聞いて居るが、良くは知らない」

潤一はソルペツテにコリエルを立てたまま下を見て話した。

「あの女は處女だつたんか、處女じや無かつたんじやないか」

安宅は笑つた、腹底からおし揚げて來た自分を滿足させ得る適確な言葉らしく、そして煙草に火を着けた、潤一はビールに醉つて安宅を駭らふとした、別離の船中での集會を思ひ出して、何か言ほふとしたが

「彼は自分で識つてゐるし、處女であるか無いかわ本人に聞くより外に無い」

こふ一人で言つて安宅を見直した、それが問題かと聞きたかつた、安宅の方でわ何か思ふらしかつたか

「あゝ言ふ人間はあゝ言ふ人間の道を見付けて行くよ、あたり前の人間のする事じやないんだからね」

そふ言つて安宅は立つた、通を隔てた出張所に行くと言つて出た。

青い着物の女が彼を見た、主人らしい男が口笛を吹いてゐた、三人連の伯人がビールで顏を赤くして話し合つてゐた。

潤一は五ヶ年經つた今二度目に會つた安宅がどう言ふ事を自分に感じてゐるのかそれがあからさまにぶちまけられてしもふと、今迄何かの貴重な藥品として、美しい容器に入れられてか何を作用し何かを癒して來たものであつても、單なる汚水であり、雨水であり、再び拾ひ集めて容器に納めるべく餘りに單一過ぎる出來事でわなかろふか、人間が動物であるなら定義である動物そのものである事が人間なのか、人間は人間の全部を識るべく人間として生れたのでわなかろふか、あらゆる罪とすべき出來事が、脫し得ぬ動物としての人間に課された事柄であるなら……潤一はその罪を最もよく知りたいと思つた。

彼は女を呼んで勘定を濟した、四百レースのチップを與へた、女は定められた彼女の椅子に腰を下した、鉢植木の葉を通して頰笑んだ

女、安宅が言つた「あの女も金で動くのじやなかつたか」そして何回ともなく彼の頭の中でくり返される言葉であつた別れた女の。

「駄目だ、歸ろふ」

突然安宅が入口に立つて言つた、思ひ付いたやうに財布を出したが、主人の男が支拂濟だと知らせると「自分が誘つたんだのに濟まない」と言つた。

二人は車に乘つた、舗裝されない路が盡きると、ガタガタ頭に響く程搖れた、彼等は沈默してゐた、時時笑ひながら安宅は別れた女の名前を言つて潤一に話し掛けたが、道の凹凸は長い間話されない程搖れて音立てた。

「雨じやないか」と安宅は地平線のあたりから起つてゐる黑雲を目で知らせて潤一を見た。

「いやだな――」自分一人切りである潤一はこんな出來事のあつた日に自分が何を考へればならぬかを思ふと、雨の日の中の慘な自分が思はれた。

「どうぞ皆樣に宜敷」

「有難ふ」

潤一はちよつと車を見送つたが家に向つて歩いた。

自分が今もなほ、あの女を熱愛してゐると知つたら、人達は何んと言ふだろふ、どう言つて笑ふだろふ？

時は過ぎ、ものは流れて萬物は新たにされてゐる、裝ほはれた者達は皆現在のあるがままに最大の幸福を見付け出そふとしてゐる、そして過ぎ去つたものを今に持ち來つて扉を敲いて自分の眞理を語らふとする者に何を期待するのか。

皆な笑ひ、笑ゑばいい、全部の人達が自分を笑ひ、そふしたら自分も共に洪笑しよふ、そして慘な自分をわけの解らない何かに首をつき込んで、見る事も出來ない暗の中で、じつと見つめて居やふ、笑ひもない悲しみもない、一つの再歸して來る力と愛と言ふ動物慾が人間上に浮び出た體驗によつてより努力される社會に對する反逆の自分を作つて行く事が出來たであらふ。

釜に火を焚き付けて飯を掛けた、雨になりそふだつた空には、夜になつて星座をもつて埋られてゐた、見馴れてゐた高原は、そのまま暗の中で、力となつて明日の爲に準備されてゐた。（六月十五日完）

附記―僕は自分の書くものに何かを意味付けやうとする、まとまりもないものを讀む諸君が反駁して下さるなら僕としてこの上も無い幸です。

時報詩壇

「和歌」貧棒十二歌

晋一郎

三年を着通す着物色褪せて
　着替だになくこの秋をゆく

働きの足りなしと思へこの上に
　働らく技は我になし得ず

（內職をせよとすゝめられて）

心こそ潔よかるなれと自からを
　慰む心やゝにくづれゆく

獨り居て凝つと默しつかなしみを
　眼より流して床に入りふす

月々をやつと喰みつゝすごす我に
　嫁のはなしを持ち來る人

齒を病みて細りし母を骨折りて
　齒科醫に送れり金はなけれど

年經るは悲しきものかな我が母の
　さゝいに泣きて家をしめらす

さつくにに我は死すとも年經りし
　父母を故國に歸さんと忙く

來年は學校を出る妹を
　いかにすべしと思ふ我かな

あの人と彼の人も皆可愛想だと
　凝つと思ひつ仕事をする

時折は再び地震に何も彼も
　燒け亡よと思ふ事あり

貧しければ繼得られじと
　時折は思ひ沈みて日記帳を出す

「俳句」題　若葉

天　鶯の聲も若芽のかほりかな　高木一水

地　岨道や若葉〳〵の陽の光　原斗牛

人　若芽たつ春日の空や嵐氣かな　白須一風

秀逸

御社の前の若芽に朝日かな　安藤喜撰
深山の美を今見よと若葉かな　森武骨
初つばめ飛ぶに柳の若芽かな　高木一水
薄氷のとけて水面の若芽かな　三澤妙珍
若芽つむ里の乙女や流れ唄　森武骨
朝かすみ晴れて明るき若芽かな　高木一水
峰の雪消ゑれど里の若芽かな　三澤妙珍
地の面綠り涼しき若芽かな　高木一水
茶畑に乙女集ひて若芽かな　安藤喜撰
朝がすみ晴れて黄金の若芽かな　川崎秀峰
たて揚げる野は一面の若芽かな　三澤妙珍
春の日は晴れて若芽の盛りかな　川崎秀峰
若芽もゑ長閑けき春や蝶の舞ひ　秋永三木
小鳥なき若芽や匂ふ春の野邊　同
長閑なる若葉の色や蝶の舞ひ　秋永茱風
初春の野山に萌ゆる若芽かな　同
山寺の梅の古木の若芽かな　原斗牛

民謡　村時雨

リンス典穗

昨夜泣いたよ
今宵も又か
樣を案じて
これ程までも
毎夜々々の村時雨
せんないお方と
思ひはせれど
かなふ事なら
ユンペ鳴いた鳥に
せめて一言
そのさまもとに
妾の心を
お便りしたや

ピリキット

五郎

昨日も鳴いたか今日も亦
うらの森にてペリキイト
ギイ〳〵〳〵鳴いて居る
眞赤な〳〵太陽に
綠の翼ひらさせて
南の空へ飛んで行く
翼とつばさすり合せ
さゝやきながら夫婦して
何處へ行くのかペリキイト
お前何時でも二人づれ
歌を唄つて飛ぶけれど
俺は何時でも唯一人
カフエーの木の其の下で

一人默々草を取る
今日も獨りで草を取る
（舊作より）

大阪商船切符仲次所
御旅館
成功館
サントス港　古謝將義
Largo 7 de Setembro, 15
Telephone, 2008 Santos

文化ペンソン
御食事は御自由に外でお[illegible]ひする簡易な文化ペンソン遠藤を是非とも御利用下さい
聖市コンセレイロ・フルタード街八
遠藤常八郎
電話二—一〇三五

大賣出
本年度栗苗木
拾萬本限り
壹千本以下（壹本に付）壹鈩五百レース
同　以上　壹鈩
拙宅代金引替渡し
申込により送付の分は送金次第運賃差引御送荷します
ソロカバナ線オザスコ驛
聖市郊外
大平彌內

Garage Congresso
(JAPONEZES)
Praça Dr. João Mendes, 3
Tel. 2-0081 S. Paulo
毎夜何時でも御呼出しに應じます
ガラージ
コングレツソ
電話二—〇〇八一
サンパウロ市プラツサ・ドトール・ジョアン・メンデス三

料亭あをやぎ
コンデ街三三番　電話二—一九四八
コンデ街一四番　電話二—四七九八

食料品及雜貨販賣
雜穀類委託販賣
上原商店
サントス港ラルゴ・デ・セッテ・セッテンブロ二六番
電話一—一八〇四

取次販賣
シンガーミシン
最新式型洋服
叮嚀で期限確實
聖市コンデ街四三番
電話二—二三五〇
（常盤ホテルの隣り）
石井洋服店
レジストロ支店
主任　宮崎德松
（久保商店內）

NIPPO-BRASILEIRA
CLINICA DENTISTA
齒科醫
日伯齒科醫院
村上眞市郎
電話二—三〇二九
聖市コンデ・デ・サルゼダス街三
（中矢商店の前）

とうふ屋
コンデ街六一

ANTES DE AVIAR A RECEITA
PARA SEU OCULOS
QUEIRA VISITAR A
CASA DIAS
A MAIOR E A UNICA
ESPECIALISTA NO GENERO
PREÇOS
PROPORCIONAREMOS MAIS
VANTAJOSOS E SEM
COMPETIDOR
CASA DIAS
無料で目の檢査をし適度の眼鏡を安くお需めに應じます
カーザ・ディアス
Quintino Bocayuva, 25-B
S. Paulo

CONFEITARIA
Japoneza
Bossako
Rua Cons. Furtado, 5
S. Paulo
日本菓子なら何でもお好みに應じ上品に且つおいしく調製致します
坊迫菓子店
聖市コンセレイロ・フルタード街五

M. HARADA
ENGENHEIRO
建築、設計、製圖、土地測量
地劵調査、各工事監督等
公認建築測量技師
原田政平
R. B. de Paranapiacaba, 1 9º. and. sala 4
Telph. 2-3364 S. Paulo

登錄商標
家庭温泉藥
遍照湯
傷ヤケド、ウチイタミ、デキモノ一切
乳の痛　皮膚病、ジ、淋病、子宮病、血の道、ホンゼンサンゴ、ゲリ、リヨウマチス、神經痛、貧血。
御注文の際病狀明記下さい。
送金コンパロル廿日分廿一鈩送料共。
本舖神戶北長狹通四島田太光堂
支店バイロ・ド・リモン安宅與平
Y. Ataque Caixa 3046 S. Paulo

Colonização Martins
Rua Gen. Couto de Magalhães, 18-sob.
Caixa Postal, 1820 S. Paulo
聖ローレンソ植民地一萬アルケル賣出

位置	アレクリン驛より五キロの地點
地味	肥沃なる處女林にして清水豐富なり
作物	米、バナナ、カンナ、バタタ等々
地區	最少十域以上何域にても分割す
地價	アルケル四百ミル三年賦無利子
拂法	購入時四割殘金六割は二ヶ年拂
地劵	聖市のタベリヨンに於て登記す
視察	アレクリン驛に常着案內人あり

尙詳細は左記へ
マルチンス植民社
日本人部主任　緒方留吉

▲日本近信▲

全國の失業者

調べ一月現在

三十七萬一千餘人

前年同期より三萬人増加

内務省社會局調

内務省社會局では、五月九日本年一月現在に於ける全國失業者推定總數を公表したが、これによれば失業者總數は、三十七萬一千八百二人これを前年十二月に比較すれば九千七百五十二人の増加、更に前年同期に比すれば三萬一千三百十四人の激増、府縣別で見ると、北海道、青森秋田に於て比較的増加を見せてゐるがこれは諸事業終了による季節的失業現象である。

これに對する救濟策は一日平均一萬四千の、失業者救濟事業を施行することになつてゐるが、このうち登錄勞働者は約六割である。

政界淨化へ

黨費は黨員の分擔

民政黨の支部長會議

民政黨では支部長會議を召集し全國支部の情勢を調査して今秋の府縣會選擧に備へるが與黨幹部はその際政界多年の問題たる黨費を全國黨員の分擔として公表することを諮りたいと計畫してゐるが、事實上全國の黨員全部が黨費を分擔するの熱意がなく黨費公開まで行けるかどうか疑問であるが、何れにしてもこの問題は政界淨化運動へ重大關係を有するので注目されてゐる

世相百態

◇倅の生活難から老夫婦の心中

本所區厩橋二丁目若宮公園東側若葉の木に六十歳位の老人夫婦がならんで縊死してゐた、原庭署で檢視すると、この老人夫婦は同區石原町一ノ二二ブリキ職萩野植松（六一）妻みの（六二）と判明、この不景氣時代に老人二人が倅の世話になつてゐるのを非観してせめて生活苦だけなりと輕くしてやらうと相談の末夫婦心中をしたものだと

◇紙入が重くなると浮きあがるエアーガール

月給袋があまり輕いのに失望し空の職業戰線から姿を消す事にした、東京空輸のエアーガール本山英子、和田正子、工藤雪江の三名は「空のサービス許りでなく平日は會社に勤務することとし月給袋も多少重くしやう」と云ふ條件でたあいもなく復職することになつた

◇靈感で死を豫知する

福島縣伊達郡柱澤村大字柱田文殊堂の堂守を勤めて居た管野浩然（七三）と云ふ老人は四月十四日妻まち（七二）さんが死亡した際「自分は五月七日死ぬから」と豫言した後堂守をして貯めた五十圓を同村小學校に寄附し、更に自分の墓石に戒名まで刻み込み親戚知己に死亡通知まで出して念佛三昧に日を送つてゐたが、五月七日の午後十時ごろ豫言通り浩然さんこうぜんと大往生を遂げた

◇學習院教授夫人巡査と駈落

市外千駄ヶ谷八五一學習院教授古賀軍治氏夫人孝子（三四）は古賀氏が昭和四年外遊中留守の警戒に賴んで置いた千駄ヶ谷派出所巡査神奈川縣生れ漆原快三と親しくなり前後交情を續けてゐたが去る五月三日遂に同巡査と共に家出したが舞子に居た處を發見され夫人だけ連れ戻された

◇藏相邸爆破檢疑者自殺

井上藏相邸爆破共犯容疑者として拘引されてゐた陸軍豫備中尉荒川淸一は强度の神經衰弱のため去る五月廿日歸宅を許されてゐたが二十二日朝剃刀で咽喉を突き自殺を遂げた

◇英傑投票で乃木さんが第一位

京都同志社大學で中學生三百名に對し崇拜する英傑の投票を行はしめたところ乃木大將が三十三票を以つて第一位を占め西鄕隆盛が廿五票で第二位、三位以下はリンコルン二十二、東鄕大將十八、ムツソリニー十一エヂソン八、トルストイ七ワシントン六、フオード六その他投票中にダグラス、ベーブルース、リンドバーグ等もあげられた

航空神社

着工

今秋九月六日第一回の祭典

帝國飛行協會で計畫中の飛行館屋上に建設する航空神社は佐藤功一博士の手で設計中であつたが愈々完成、五月下旬から着工今秋九月に第一回の祭典を行ひ明年からは毎年四月六日に例祭を行ひ十ヶ年目に大祭を執行すると。

巡洋戰艦「金剛」

純日本式に大改造

今秋までに面目一新

巡洋戰艦金剛（二萬七千五百噸）は同クラスの比叡、霧島、榛名の三艦が何れも我が國で建造されたのに比し英國ヴイツカース社の建造になるもので軍縮會議後兵力量缺陷を補ふべく海軍では昭和三年十一月から横須賀工廠で大改造に着手し滿三ケ年を費して漸く今秋九月中旬完成することになつた。

改造後の金剛の性能は軍機に關する故極秘されてゐるが現在の如く防空設備の重大視されない大正二年八月英國で建造されたもので完全な甲板上の防空設備をなす外前檣を榛名と同形に改造、水平線以下には魚形水雷を防ぐバルリーが新設される等近代的巡洋戰艦として生れ變るか、大改造の爲め排水量に相當増加あり速力の二十七・五ノツトにも影響するに至つたので、石炭を排し重油を使用し煙突は三本を二本に減ぜられ、純日本式型體を有するに至つた

鐵道創ての珍事

燕號が脫線して

枕木の上を三百米も走つて復舊

五月六日午後五時十分頃東海道線、高塚・舞坂間を上り超特急燕號が通過後、靜岡縣濱名郡可美村小野田龜之丞氏が線路を通過したところ約三百米が破損してゐるのを發見、直に濱松保線區に急報したので同所から工手數十名現場に急行、折柄驀進して來た上り七百十二號旅客列車に急停車を命じ應急修理を施し同日午後九時に至り復舊したが破損したボールド卅七本、犬釘五百六本で、枕木に約二百六十五米に亘つて列車の車輪の痕かあつて、七百十二號列車の前に通過した超特急燕號が同所を通過の際脫線しそのまゝ進行して次の踏切の鋪道板の所で再び軌上に復したものであるらしく、同所のカーヴは半徑千六百米でレールは普通百ポンドを使用してゐるのを同所のみは九十五ポンドを使用してゐる爲であると見られてゐる、右に鑑み濱松、豐橋間のレール中九十五ポンドのものは至急取代へる必要があるとされてゐる。

常用漢字を更に

百二十字削減

總數千八百五十八字に

文部省國語調査會は保科文理科大學教授が主催で時勢に順應すべく漢字制限及新假名遣ひにつき長年研究を續けてゐたが更に今度は、大正十二年五月發表の常用漢字表に修正を加へ、又新假名遣ひも完全に近いものを得たから近く教科書にも採用される事になるといふ、新に削減した漢字と增したものは左の如くである。

一、常用漢字表から削つたもの

云仙企但儒兇冠凝凸
凹刈勺匁匹卿叛叱呑
嘗坐垣塚妾嫉宇宛宰
寡岬嶮帖廟弘循忽悅
戚托捌掘效李杖桶梯
棚樋檜殴殼毫洲游溝
濟濫灌烏焰煎煤熊燭
牒狐猥猿瓜畔疏痕眺
睦瞭秤稼穿笠箇篇粟
紗絞纂耽聘肋肯肴脂
脇腎腺膏膳臼舅艇艘
芋莖萩蒔蓮蔭薦薪藍
蘇虜袂袴詣誅誦誼諫
謂謙貫賑赦踏蹟蹴輔
想辻逢那釘錦鍛鎌閏
隅霞鞍頃須頒饉驕鰹
鼠齊

（以上百四十七字）

二、新に常用漢字表に加へたもの

之亦伸佳俱克其冗剩
厥咸唯喫壞妥娼宏彰
悖惟愼扇披描揷斯映
昭汰淵爾環辯肅肇脅
勳璽謐諮謬輯遑錯賓

（以上四十五字）

Kaigai Kogyo Kabushiki Kaisha

海外興業株式會社

州内より獨立農希望者へ

イグアペ植民地

◇平坦で手頃の處女林
◇水質良好で豐富
◇現住者レヂストロ、桂四六〇家族、セツテバラス一八〇家族（人口一、〇二〇名）
◇最近州内より契約七〇地區
◇地代一町歩に付一〇〇〇釬—一五〇釬
◇一地區二十五町歩内外
◇一地區に付初回七〇〇釬納入殘金六ヶ年割拂ひ
◇希望の方には寫眞入案内書送る

入植希望者には視察轉住其他に出來得る限り御便宜を斗ります

詳細御照會は下記へ

新方面提供

海興伯國支店
リベロン出張所野見山秀雄
植民部事務所大野長一

Kaigai Kogyo Kaisha - Caixa 3015 S. Paulo
Hideo Nomiyama - Caixa 290 Ribeirão Preto
Choichi Ohno Colonia Sete Barras - Via Santos

大阪商船會社指定切符取次所

聖市旅館同業組合

末廣　中山忠太郎　コンデドピニヤール街一C　電話…二—五六三八
大和　坊迫健藏　コンセレイロフルタド街二
小川　小川源右衛門　コンセレイロフルタド街十六　電話…二—四四七六
常盤　石原桂造　コンデサルゼーダス街四一　電話…二—三六九〇
旭　秋田粂三郎　コンデドピニヤール二一　電話…二—一七八二
上地　上地彌造　ボニータ街一一　電話…二—一九三二　郵函一三三五
東京館　仲村渠三郎　サウア街二九一

廣告

在伯同胞が或は八萬と云ひ或は拾萬と云ふも確たる根據がない況んやその分布狀態及びその住所氏名に至りては尚更不分明であります。就いては幸ひ最近蒐集した各種の材料を基本として今度『在伯日本人住所人名錄』を出版する事に致しました。

而してその内容としては、

一、全同胞（家長）をABC順に因り列記する事
二、各線各驛毎にABC順に因り列記する事
三、在伯同胞に必要なる商店、工場、農場、研究所其他醫師等各種職業のフイルマ及びエンデレツソ
四、各種の便宜なる案内物
五、内外人各種商店の廣告

而して右基本調査物は既に出來上つて居り從つて唯單に内外人商店の廣告さへ集まれば直ちに出版出來る狀態でありますから茲二ヶ月内に完成し度ひと思つて居ります。

尚右出版物は三百頁内外であり價格は一冊五ミル以內として出來る丈けの最低限度で賣り單にブラジル在住の日本人のみならずブラジル諸官署外人商店及び日本内地に在る諸官署關係者等へも廣く行渡る樣考へて居ります。

就いては右出版物に商店及び日本人會等の廣告を出し度ひといふ御希望者は至急左記へ申込下さい。

一九三一年六月十三日

サンパウロ市

法學士（東京帝國大學法科大學卒業）
辨護士（大阪地方裁判所檢事局登錄）

牧義朝

Rua Libero Badaró, 33 Sob. Tel. 2-0458
Caixa Postal, 1757 São Paulo

尚最近に計劃されて居ると聞く「在伯日本人職業案內書」とは全然別個のものであります。念のため申添へておきます。

CASA TOZAN

MIZUKAMI & CIA.

COMMISSARIOS

Rua Cidade de Toledo, 25 —— Caixa Postal, 911
Telephone, 2837 —— Endereço Telegraphico "TOZAN"

SANTOS

サントス市

珈琲コミサリオ

カーザ東山

ミツカミ・イ・コンパニア

郵函……九一一號
電話セントラル二八三七號
電信略號「TOZAN」

弊店取引方法は御照會次第御回報申上候

ギード師誕生日に
祝賀演藝會
第二世を通うじて渾然たる日伯親善

前號の本紙に報道の如く、去月廿八日午後二時からモツカ街二十七番のデピーナ・プロビデンシア女學校講堂に於て、在伯公教日本人會主催のギード・デル・トーロ師の第五十四回誕生日祝賀並に公教歸依邦人一千名に達した同師努力に感謝の意を表せん爲めの演藝會が催ほされた、定刻に至るや公教日本人會長たる中島勘太夫氏はギード師に對し

お祝ひの挨拶を述べ、それから演藝會に移つたのであるが、日本人の可愛らしい多數の少女に少數のブラジル人のミニーナが加はり日伯少女團と云ふ形で遊戲、童謠、暗誦、詩誦、音樂等、等、等を一番から二十九番まで前田氏の紹介で現はれては退き退いては現はれ、一點のよどみもなく演つて拔けしは流石に村山氏等の熱心なる仕込みの結果と感心せざるを得なかつたが、特に此の催ほしの中觀者を感ぜしめしは、人は神の前には

平等だと云ふ無差別觀を可愛らしい第二世を通うじて如實に現はせし事で、是れには信者も未信者も日本人も外人も皆等しく肯き合ひ、日本人も第二世に於て立派な伯國々民となるべきを認識せざるを得なかつたと共に、日本人—殊に女の子供には—歐米人の持合はさぬ柔和しい裡に利口さを含み柔と相和する美質を具ふるを見て喜び合つたのである、又此の日の主賓であつたギード師の喜びは大なるものありしが如く、他の五名のパードレも、日本人の子供には斯の如き演藝が出來るとは思つてゐなかつたと語り合ひ感嘆してゐたのを聽いたが、何んと云つても氣持の良い演藝會であつたので、ギード師に御目度う御座いましたと握手を交はし歸途に就きながら猶は喜びに動かされてゐた

九百家族の
北伯移民
近く來聖か

政府の公表する處に依れば、現在奥地耕主側から申込まれてゐる必要家族數は千四十三にも及ぶに拘らず、之れが供給は遲々として捗らないので、州政府側の一官吏はリオ首都へ本問題陳述の爲め派遣され、勞働大臣リンドルフオ・コロール氏に援助を乞ひし處それが直ちに聞届けられ、九百家族の北伯移民を來聖せしむることゝなつた由である、そして聖州政府では州内の無料運送を實行し、北伯からの船賃は（半額割引はロイド・ブラヂレイロ社が負擔）後の半額は聯邦府の負擔となり、彼等家族の勞働契約期間は最短を二ケ年と定めたと

高木帝大教授
癩病村視察

去月二十日以來奥地旅行中の帝大教授高木博士の一行は、去る廿七日バウルー市外にあるアイモレー癩病村を訪問具さに專門的研究視察を遂げられた、而して同村訪問の一行は博士の他に齋藤醫學士、ドトール・クワルチン・バルボーザ氏、ドトール・アチリオ・ブラード醫師、ドトール・ジョアン・シルベイラ醫師、ゲデス・アゼベド氏等にて尚ほ當市發行のフオリア紙の記者も亦一行に加はつた由であるが、同所に於ける患者の收容院は未完成のまゝで、是れが完成せる曉には、多大の便益をもたらすに相違ないと高木博士は隨行員に視察感想の一片を洩らしたと

北米合衆國
獨立記念日

北米合衆國は來る四日が百五十五年の獨立紀念大祭日であるので、當日は例年通り午前十時から十一時までリベロ・バダロ街五一番ソプラードに在る同國總領事館に於てレセプションを催ほし一般の祝賀を受け、また當夜は在留民主催にてトリアノーンに於て盛大に祝賀舞踏會を催ほす由

内山新總領事
三日夕着聖

明後四日入港豫定のリオ・デ・ジヤネイロ丸は、一日早着—明三日午後一時サントス入港豫定となつたので、内山新總領事及び令夫人は着船後直ちに上陸サントスにて少憩サンパウロに向はるゝ由なれば當市着は三日夕刻の筈

日本倶樂部の
歡送迎會

當地日本倶樂部にては、今回歸朝の齋藤武雄、佐々木淳の兩氏を送り、新たに來聖の古關富彌氏を迎ふる爲め去月廿七日夜當倶樂部に於て歡送迎會を開けるが、出席者多數にて隱藝なぞも出で頗る盛會であつたと

リオ丸は一日早着
明三日入港する
乘込同胞は五百十九名

大阪商船リオ・デ・ジヤネイロ丸は豫定より一日早く、明三日サントス港着の電報を得た、同船には家族移民七十四家族の他、夫婦移民五家族、ブラ拓組合八家族　力行會關係獨身者六名の總計五百十九名が乘込んでゐる

力行會長の
永田稠氏來聖

昨年北米を旅行し、歸つて其の疲れも醫へざる中、又ブラジル視察を決行した力行會長永田稠氏はリオ・デ・ジヤネイロ丸にて明三日サントス着來聖の筈であるが、氏今回の來聖はブラジル不況の現狀を視察すると共にアリアンサ移住地問題を解決する要務を帶びての旅行だと云ふことである

齋藤氏出發

在伯十八年、パイオニア氣分を最も濃厚に現はし親切の有り丈を盡して同胞から慕はれた書記生齋藤武雄氏は、去る三十日サントス出帆のサントス丸で家族同伴歸朝の途に就いたが、當日午前十時ルス驛出發の際は見送人多數で古い友達には泪を流す者をも見受けた程別れを惜まれて出發した

綿作者と
無賃乘車券

本紙が再々報道したる如く市内アルメーダ・ブラド會社所有地（ソロカバナ線セルケーラ・セザール驛所在）に綿作地入植家族全部に對し州政府は無賃乘車券を發給するので入植者續出多忙を極めてゐる、尚ほ入植希望者は家族各人の姓名、年齡等を記して同會社に日本文にて差出すべしである

醫界の功勞者
センギ醫師逝去

當市醫師界の功勞者として同胞間にも力を盡されたドトール・ワアター・センギ氏は去月二十七日午前パウリスタ街のサンタカタリナ病院で腦溢血を起し突然逝去されたるは哀しいことである、行年五十八歲、因に同醫師は千九百七十三年墺國首都ビエーナ市に生れ同市の醫大卒業後一九〇一年に渡伯、僅々四、五ケ月の勉強で伯國醫師試驗に合格公認となり、伯國に歸化して伯婦人と結婚醫業に專念今日に至れるが、突然の逝去で一般から非常に惜まれてゐる

座喜味事務所移轉

座喜味父子共營の奉仕商會は其の後座喜味事務所と改稱事業を營み來つたが、今回更に便利な場所として聖市リベロ・バダロ街六番三階五一番に同事務所を移轉した

佐藤勇香氏
今後の旅行日程

目下ノロ線視察中の希望社伯國出張員佐藤勇香氏は來る七月十日頃パウリスタ線の視察を了へて歸聖、イタケーラに五日間程滯在の上十五日頃から更にソロカバナ線巡廻の豫定だと

移轉廣告

毎度御愛顧を蒙りましたバザール・パウリスターノは今回當市目拔きの

プラサ・ダ・セ八十四
Praça da Sé 84

に移轉致しました、何卒倍舊の御引立の程を御願ひ致します尚ほ電話番號は從前通り二一五二八六で御座います

陶器、玩具、雜貨
バザール・パウリスターノ
梅田久吉

"A' CIDADE DE VIENNA"
Largo Santa Ephigenia, 4
獨人　São Paulo　經營

僅少の金で結構の衣服の出來る
シダデ・ビエンナへ!!

洋服　カジミラ上等裏附調製三つ揃一着
ソフレメチダ　一九〇、二二〇、二五〇、三〇〇ミル
仕立洋服　特別念入上等カジミラ製
一二〇、一四五、一五五、一八〇ミル
外套　純毛製ラグラン・ジヤケトン
一一〇、一七五、一九〇ミル
ガバルヂニ　防寒雨用
合羽　一一〇、一三五ミル
尚此外青少年少女用の合羽、外套、洋服等富豐に取揃へてあります

增補訂正第三版の
殘本僅少
明日と云はず今日今直ぐお求めをお勸めする

現下の財界不況に目覺めた同胞は將來經濟的基礎の確立を期せねばなりませぬ、而して吾々の手腕力量は葡語に據つてのみ表現し得る此の時に當つて本社編纂の葡語講習錄の存在をお忘れなく。若き諸氏よ葡語獨習書として迷はず本書を撰擇されよ。本書は葡語のイロハから初まり文法、商業文、公文、書翰に至るまで極めて解り易く說明してある上に附錄としては日伯兩語の病名、藥名及び使用法イロハ順で列記し且つ吾々に最も必要なブラジルの法律規則及び慣例の大體を邦文に譯して日用の便に供へてあります。

伯刺西爾時報社編纂
改訂ブラジル語講習錄
送料共　二十ミル

發行所　伯刺西爾時報社

ジエツリーナ町で
一番の人氣で一番親切で

CASA SÃO BENTO
Domingos Yamacita
C. P. 35 Getulina
LINS N. O. B.

雜貨農產物
山下商店
山下藤太郎
森山秋雄
建築並家具
主任　山下藤男
大工仕事が眞面目で格安

一番よく賣れる店

日本人農業者に限り土地無料にて御貸し致します
場所オザスコ驛
詳細は左記へ
Rua Arco Verde, 116 Pinheiros
S. Paulo

尋人

山口縣人　戸田ト市
同　岡本吉次郎
同　中村恭一
同　大下繁一
同　永島一夫
同　岡村由見
同　田中太吉
同　上田芳平
同　後藤春雄
福岡縣人　植田霞
同　丸山龜次郎
三重縣人　山下勝
秋田縣人　大場倉松
北海道人　古谷益實
同　川岸常男

右ノ者等ノ現住所本人又ハ御存知ノ向ハ至急御一報相煩シ度シ

昭和六年六月廿三日
在サンパウロ
日本總領事館

妻かね儀分娩の際難產の爲め醫藥石百方手を盡し候も遂に其の効なく親子共去る六月十七日朝夕を異にして永眠致し產兒は同十七日母親は翌十八日ブロミッソン共同墓地に埋葬致し候間此段生前辱知諸賢へ謹告仕り候追而葬送ノ際は御多忙中にも不拘遠路態々御會葬下され其の上多大なる御香奠賜り有難く奉深謝候右畧儀乍紙上を以て御禮申上げ候

昭和六年六月

夫　栗原爲市
義兄　栗原玉次郎
同妻　栗原小雪
養父　三宅與右衛門
同妻　三宅ぎん
伯父　山室逸平
右妻
義兄　仁井與三郎
妻　仁井オイシ
親族　三上松次郎
三上タケ
三上義信
コルゴケッシヤーダ植民者一同
コルゴケッシヤーダ青年會員一同
外親友一同

2 de Julho de 1931 No. 714

Noticias do Brazil

木曜日 第七百十四號 昭和六年七月二日

柳生十兵衛の巻（二）

一、十兵衛忍びの道中

寛永七年の春、武者修業姿の柳生十兵衛は、岡山街道をぶらりぶらりと、一向に暢氣らしい足を運んでゐた。

中國筋の春は早く、二月末だと云ふに、もう袷の裏が汗ばむ程である、その快い陽氣を四方の美しい景色と共に樂しむやうな風である、道端に一軒の茶店があつた。

トラホームには
【タカ點眼藥】

「許せよ。」

ずいと入ると、中には役人風の武士が二人ゐる、十兵衛は知らぬ顔で一方の緣臺に腰かけ、老婆が汲んで出した澁茶を、さも甘さうにすゝる。

「これ〳〵、そこな浪人。」

役人らしい一人の武士が聲をかけた。

すが眼で、小兵な十兵衛は、一向に風采も上らないし、その上服裝も粗末だつたから、痩浪人と見られたのも無理はない。

役人の言葉附が横柄であつたから、十兵衛少しくむつとしたが、默つたまゝ横を向いてゐる。

「これ、御浪人。」

他の一人がいくらか前よりは優しく言葉をかけたが、浪人と見ることに變りはない。

「貴殿は耳が遠いのか。」

始めの男が聲を大きくしたが、十兵衛更は答へない。

「其許に少々お聞きしたい儀がござる。」

第二の武士は余程優しく丁寧に出た。でもまだ答へない。

「我々は當岡山藩家中の者だ。何故貴公は默つてゐる。」

堪り兼ねたか、第一の武士はつか〳〵と十兵衛の傍に寄つて來て、ぐつと肩先を握つた●

「無禮をするなッ。」

心魂に響くその聲、肩先を掴んだ武士は、さながら跳ね飛ばされたやうに二三歩退く。

「何をッ。」

年が若いせいか、すぐ右手は柄頭へゆく。

屹ッと睨んだすが眼、どうやら只ならぬ威力がある。

と第二の武士は、今にも刀の鞘を拂ひさうな第一の武士の袂を後からぐい〳〵と引いた●

「すぐにさう拔きたがる人斬庖丁は腰になど差してゐぬがよい」

十兵衛は相手に痛い皮肉を投げて、また元通り横を向いてしまふ。

カユミあるデキモノには
ピシノール軟膏!!

「人斬庖丁だと－。」

若侍、最初は嚇す心算で柄に手をかけたらしいが、ぱつと血の氣が顏に上つたのは、今度は本當に怒つたらしい。

ぐい〳〵と第二のやゝ長じた武士は尙も袂を引く。

「放し召され、無禮な痩浪人奴ッ。」

怒つた武士の耳元に

「大變だッ、ちよッ、ちよッ。」

第二の武士が囁くと、その武士も何事かとばかりに首を曲げるその耳元に第二の武士は更に何事か囁いた。

「えッ？。」

怒つてゐた年若の武士、まつたく吃驚した樣子で眼を瞬つたがいつか刀の柄に掛けた手はだらりと垂れて、ぢつと十兵衛の横顏に見入つた。

顏を見合した二人は、急に容を正して小腰を屈め、

「只今はまことに失禮を申しました。平に御容赦下さるやう――就てはちとお伺ひしたき儀がござりますが……」

「何だ。」

今度は十兵衛横柄ながら直に答へた。

妙に轉變した態度に茶店の老婆も不審さうに眺めてゐる。

「あの、若しや貴殿は、柳生十兵衛先生ではござりませぬか。」

「はゝゝ、十兵衛をどうして分つた。」

急に十兵衛の晴やかな一笑、くるりと二人の方に向き直ると、もう、二人は地べたへ兩手をついて恐縮してゐる。

「はゝッ、さては先生でございましたか、知らぬこととは云ひながら、先程よりの無禮の段々何卒お許しの程願ひ上ます。」

「何、よい、よい」

十兵衛相變らずニコニコしてゐる。

「私共は主人池田忠雄より命ぜられ、先生の御來遊を知つて、兩三日前より當所にお迎ひに參り居る者でござりまする。」

「何、備前宰相殿より云ひ付かつて迎へに參つたと、はゝゝ十兵衛の來るのがよう分つたな」

O MELHOR SERVIÇO DE CAMARA ESCURA
CASA FOTOPTICA
ARTIGOS
AGFA, KODAK, ZEISS
RUA SÃO BENTO, 45
REVELAÇÕES, COPIAS, AMPLIAÇÕES

「はッ、先生の御來遊はもう一ケ月はかり前から知れて居ります、何卒我々お供仕りますれば、城中へお越しの程、主人に代つてお願ひいたしまする。」

「今度の旅は忍びの道中なのだが見つかつてはどうも仕方がない、では一緒に參るとしようか

「早速の御承引有難く存じまする。」

一人が飛び出して駕を呼んで來ると、十兵衛を駕に乘せ、二人が附添ふて行つた。

後には茶店の老婆が啞然として見送つてゐた。

"SUL AMERICA CAPITALIZAÇÃO"
NAOJI ATSUMI (AGENTE AUTOLIZADO)

世界一の
貯金法

資本莫大絶對安全
貯蓄債券月賦拂式
毎月抽籤償還確實
（應無料御相談）

公認代理人
厚味直治
郵函三七九四
聖市イピランガ街
十三一階四號

二 柳生流の特質

十兵衛光嚴は將軍家指南番柳生但馬守宗矩の嫡男である。生年は慶長十二年、幼名を七郎と云つた、兵法の家の嫡男としての十兵衛は、何ら申分のない程の天禀の才を有してゐた。その廿才の時には父但馬守も扱ひ兼ねた程の腕前となり、十兵衛光嚴は父に勝る腕前であると、既に世に宣傳された。

祖父の宗嚴が相傳した新陰流から、父但馬守の案じた柳生流、十兵衛光嚴に到つてその玄妙を得たと云ふべきである。

勿論但馬守も名人であつた、その創出した柳生流は、如何にも時代的な新しさを持つた生きた劍法で、在來の構へ、組太刀などは無用のものとし、その主張する所は、太刀を如何樣に立派に構へ、その手段寸法に長じてゐても、要するにいざ立合といふ場合は、それらは總べてけし飛んで只敵を斬ると云ふ事より他にあらう筈はない、六づかしい太刀、六づかしい構へなぞを最初に出せば、敵はそれをどうかして破らうと術に凝つて來る、その場合敵は思いかけない妙手を現はすこともあらうし、自分をそれを扱ふ變化に迷ふこともある。

その不利を説いて柳生流では寧ろ虛の構へを旨とした。始めから隙を露出した構へである。即ち次の變化に深くも恐ろしい手段を隱してゐるのだ。またこれまでの修業には木劍を用いたから、勢ひそれは眞劍に近くて充分な稽古が出來ない、大低の稽古はたたくとか、突くとか云ふ危いことを避けて、勝負の場合に相手の木劍をたたき落すか鍔元まで詰込んで勝負を分けたものである。

Y. Kinjô
Cirurgião Dentista
Condessa São Joaquim, 26
Esquina da Rua
Conde S. Joaquim
Telephone, 7-3384
São Paulo

齒科醫
金城山戸
聖市
コンデツサ・サン・ジヨアキン二六番
電話七－三三八四

大阪商船會社

代理店 Santos : HOULDER BROTHERS & CIA. LTD. Rua do Commercio, 35
代理店 S. Panlo : THEODOR WILLE & CIA. Rua Libero Badaró, 52

日本へ一番早く着く優秀な新造客船

●北米經由サントス日本間六十日に短縮

【命令定期毎月一回】

□日本へ
りおでじやねいろ丸
八月二日サントス發
八月四日リオ發

□日本より
りおでじやねいろ丸
七月三日サントス着

○御歸朝客には神戸から御郷里內地各港迄弊社船無賃乘繼の特典を設けました、但し沖繩行は各等五割引

○日本より家族御呼寄船賃支拂便法は左記へ御照會願ひます

サントス駐在員 酒寄守
Caixa Postal, 388 Santos

ピシノール軟膏 Pomada Pixinol

皮膚病退治

どんなクセの悪い皮膚病も一、二回の使用によつて綺麗に全治します

適應症

△タムシ△ヒゼン△シラクモ△インキンタムシ△小兒のクサ△ナマヅ△カユミあるデキモノ△フキデモノ△毛ビツシヨ△ノミ△ダニ△ビツシヨ等の食ひ口△赤ん坊のマタのタダレ△フエリーダ△土マケ等寄生虫性及一般皮膚病には不思議に効くと云ふ定評があります

―到る所の有名な藥店及日本人商店にあります―

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD)
Rua da Candelaria, No. 23
Caixa Postal, 380 — Rio de Janeiro

横濱正金銀行支店
リオ、デ、ジヤネイロ

郷里送金

一、御送金の伯貨は當店にて受取りたる當日の爲替相場にて日本金に換算可仕候
二、日本內地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔いたし即ち全く無手數料にて御郷里の受取人へ送り屆け申し上候
三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶横濱正金銀行勘定として Banco Commercial do Estado de São Paulo 又は御便宜の方は Banco Noroeste do Estado de São Paulo へ御拂込被下候ても差支無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り下されたく候

預金

日本貨定期預金利息	六ヶ月以上	年四分二厘
伯貨定期預金利息	六ヶ月以上	年四分五厘
	一ヶ年以上	年五分
伯貨當座預金（小口）		年四分

預送金用紙は御請求次第直に御送り可致
御不審の點は御遠慮なく御問合被下度候
預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候間御申込の際最寄郵便局御指定相成候は〆御便宜に有之候